

SIEMENS

SIMATIC

産業用 PC SIMATIC IPC BX-21A

操作説明書

まえがき

概要

1

安全に関する指示

2

装置の設置と接続

3

装置および装置機能のコミ ッションング

4

装置の保守と修理

5

技術仕様

6

テクニカルサポート

A

マーキングと記号

B




略号リスト

C

法律上の注意

警告事項

本書には、ユーザーの安全性を確保し製品の損傷を防止するうえ守るべき注意事項が記載されています。ユーザーの安全性に関する注意事項は、安全警告サインで強調表示されています。このサインは、物的損傷に関する注意事項には表示されません。以下に表示された注意事項は、危険度によって等級分けされています。

 危険
回避しなければ、直接的な死または重傷に至る危険状態を示します。
 警告
回避しなければ、死または重傷に至るおそれのある危険な状況を示します。
 注意
回避しなければ、軽度または中度の人身傷害を引き起こすおそれのある危険な状況を示します。
通知
回避しなければ、物的損傷を引き起こすおそれのある危険な状況を示します。


複数の危険レベルに相当する場合は、通常、最も危険度の高い事項が表示されることになっています。安全警告サイン付きの人身傷害に関する注意事項があれば、物的損傷に関する警告が付加されます。

有資格者

本書が対象とする製品 / システムは必ず有資格者が取り扱うものとし、各操作内容に関連するドキュメント、特に安全上の注意及び警告が遵守されなければなりません。有資格者とは、訓練内容及び経験に基づきながら当該製品 / システムの取り扱いに伴う危険性を認識し、発生し得る危害を事前に回避できる者をいいます。

シーメンス製品を正しくお使いいただくために

以下の事項に注意してください。

 警告
シーメンス製品は、カタログおよび付属の技術説明書の指示に従ってお使いください。他社の製品または部品との併用は、弊社の推奨もしくは許がある場合に限りです。製品を正しく安全にご使用いただくには、適切な運搬、保管、組み立て、据え付け、配線、始動、操作、保守を行ってください。ご使用になる場所は、許容された範囲を必ず守ってください。付属の技術説明書に記載されている指示を遵守してください。

商標

®マークのついた称号はすべて Siemens Aktiengesellschaft の商標です。本書に記載するその他の称号は商標であり、第三者が自己の目的において使用した場合、所有者の権利を侵害することになります。

免責事項

本書のハードウェアおよびソフトウェアに関する記述と、実際の製品内容との一致については検証済みです。しかしなお、本書の記述が実際の製品内容と異なる可能性もあり、完全な一致が保証されているわけではありません。記載内容については定期的に検証し、訂正が必要な場合は次の版で更新いたします。

まえがき

はじめに

これらの操作説明書には、SIMATIC IPC BX-21A のコミッショニングと操作に必要なすべての情報が含まれています。

装置を動作させてそれを他のユニット(オートメーションシステム、プログラミング装置)と接続するプログラミングやテストの担当者、およびアドオンをインストールしたり故障/エラーの分析を実施したりするサービスやメンテナンスの担当者を対象に書かれています。

基本的知識の必要条件

この操作説明書を理解するには、パーソナルコンピュータおよび Microsoft オペレーティングシステムに関する十分な知識が必要です。また、自動化制御エンジニアリングの分野に関する一般的な知識があることを前提としています。

操作説明書の有効性

この操作説明書は、SIMATIC IPC BX-21A のすべてのバージョンで有効です。

マニュアルの更新は Siemens Industry Online Support

(<https://support.industry.siemens.com/cs/jp/ja/view/109744171/en>)に公開されます。

このマニュアルの範囲

SIMATIC IPC BX-21A のマニュアルには、次が含まれています。

- SIMATIC IPC BX-21A 操作説明書(英語、簡体字中国語、ドイツ語、日本語)
- SIMATIC IPC BX-21A クイックインストールガイド
- 「装置に関する重要な注意事項」の製品情報
- SIMATIC Box PC、SIMATIC Panel PC、および SIMATIC Rack PC のオリジナルの操作説明書

表記規則

このマニュアルでは、SIMATIC IPC BX-21A を指すために「PC」および「装置」という用語が使用されることがあります。

履歴

この操作説明書の次のエディションは、既に発行されています。

エディション	コメント
2023 年 11 月	第 1 版

目次

	まえがき	3
1	概要	9
1.1	製品の説明	9
1.1.1	概要	9
1.1.2	設定プラン	10
1.2	装置の構造	11
1.2.1	装置のインターフェースおよび接続	11
1.2.2	ステータス表示	12
1.3	付属品	13
2	安全に関する指示	15
2.1	安全に関する一般的な注意事項	15
2.2	サイバーセキュリティ情報	19
2.3	データ保護	19
2.4	サードパーティのソフトウェア更新の免責事項	20
2.5	使用上の注記	20
3	装置の設置と接続	21
3.1	設置の準備	21
3.1.1	納品パッケージの確認	21
3.1.2	装置の識別データ	22
3.1.3	許容取り付け位置	25
3.2	装置の取り付け	26
3.2.1	取り付け説明	26
3.2.2	標準レールへの取り付け	27
3.2.3	デスク/壁取り付け	29
3.2.4	直立取り付け	30
3.2.5	垂直取り付け標準レール	31
3.2.6	VESA 取り付け	32
3.3	装置の接続	33
3.3.1	接続に関する注意	33
3.3.2	保護導体接続	35
3.3.3	電源の接続	36
3.3.4	ネットワークへの装置の接続	37
4	装置および装置機能のコミッショニング	39

4.1	コミッショニングに関する一般情報.....	39
4.2	装置の電源をオン/オフ.....	39
5	装置の保守と修理.....	41
5.1	保守の周期.....	41
5.2	修理に関する情報.....	41
5.3	ハードウェアの設置と取り外し.....	43
5.3.1	バックアップバッテリーの交換.....	43
5.3.2	SSD の交換.....	47
5.4	オペレーティングシステム、ソフトウェア、ドライバのインストール.....	49
5.4.1	オペレーティングシステムのインストール.....	49
5.4.2	ドライバおよびソフトウェアのインストール.....	49
5.5	リサイクルと廃棄処分.....	52
6	技術仕様.....	53
6.1	認証と認可.....	53
6.2	指令および宣言.....	58
6.2.1	電磁環境適合性(工業領域および住宅領域).....	58
6.2.2	RoHS 指令.....	58
6.2.3	ESD ガイドライン.....	58
6.3	寸法図.....	61
6.4	技術データ.....	64
6.4.1	一般的な技術仕様.....	64
6.4.2	周辺環境.....	68
6.4.3	コンポーネントの電源要件.....	69
6.4.4	直流電源(DC).....	70
6.5	ハードウェアの説明.....	71
6.5.1	マザーボードの技術的特徴.....	71
6.5.2	外部インターフェース.....	71
6.5.2.1	USB 3.1 ポート.....	71
6.5.2.2	コネクタの DC.....	72
6.5.2.3	Ethernet ポート.....	72
6.5.2.4	DisplayPort.....	73
6.5.3	内部インターフェース.....	74
6.5.3.1	M.2 インターフェース.....	74
6.5.4	システムリソース.....	76
6.5.5	入力/出力アドレス領域.....	76
6.5.5.1	ウォッチドッグレジスタ.....	77
6.5.5.2	コントロールレジスタユーザーLED L1/L2/L3.....	80
6.5.5.3	バッテリーステータスレジスタ.....	82

6.6	BIOS の説明.....	83
6.6.1	概要	83
6.6.2	BIOS 更新	84
6.6.3	アラーム、エラー、システムメッセージ	85
A	テクニカルサポート.....	87
A.1	サービスおよびサポート	87
A.2	トラブルシューティング	88
A.3	サードパーティモジュールの使用に関する注意.....	90
B	マーキングと記号	91
B.1	概要	91
B.2	安全性.....	91
B.3	オペレータ制御.....	91
B.4	認証、認可およびマーク	92
B.5	インターフェース	93
C	略号リスト.....	95
	用語解説	101
	索引	103

概要

1.1 製品の説明

1.1.1 概要



SIMATIC IPC BX-21A は、高レベルの産業機能性を提供しています。

- コンパクト設計
- 拡張性
- 高度な耐久性
- 各種インターフェース

概要

1.1 製品の説明

1.1.2 設定プラン

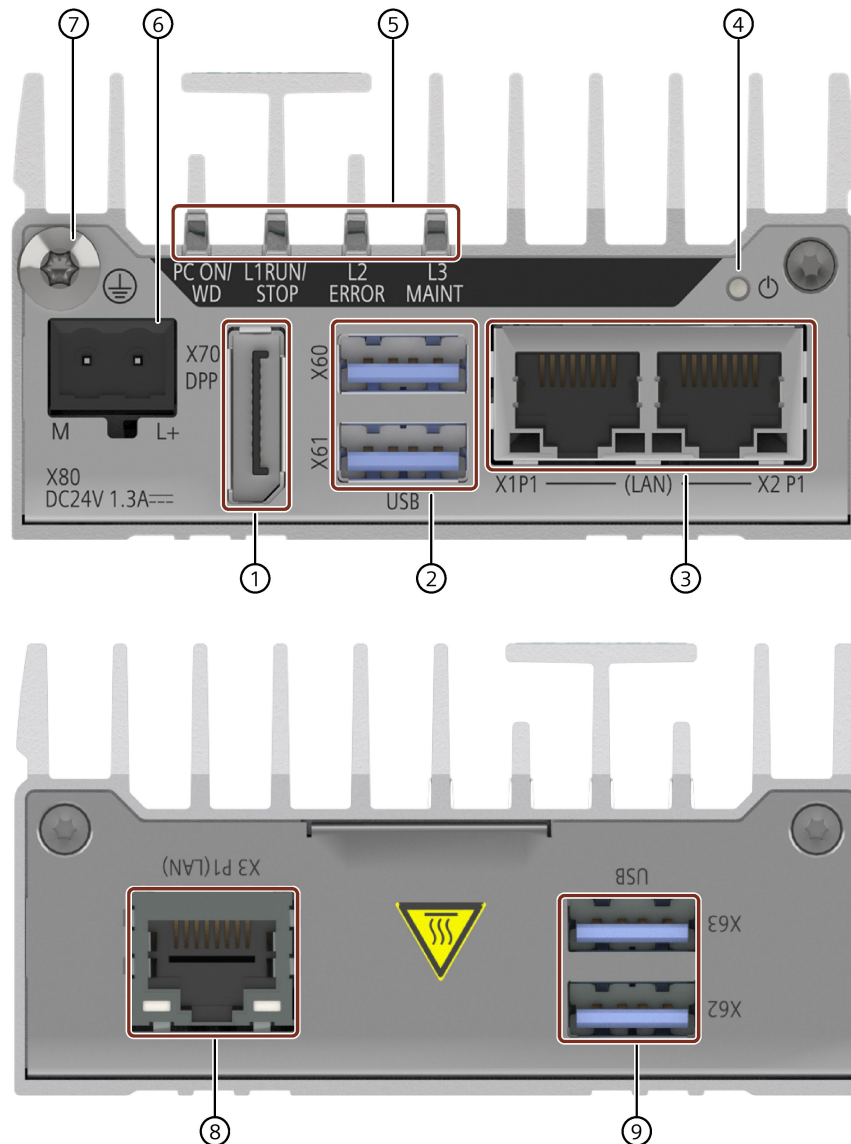
取り付けタイプ	<ul style="list-style-type: none">標準レールへの取り付けデスク/壁取り付け直立取り付け垂直取り付け標準レールVESA 取り付け
プロセッサ	Intel Atom® x6413E プロセッサ(4 コア、最大 3.0 GHz)
メインメモリ	<ul style="list-style-type: none">8GB LPDDR4 SDRAM16GB LPDDR4 SDRAM メモリの最高速度は 3200 MT/s までです。
グラフィック	Intel® UHD グラフィック
電源	24 V DC (19.2 ~ 28.8 V)
Trusted Platform Module (TPM)	ソフト TPM。
ドライブと記憶媒体	
M.2 モジュール	1 x ソリッドステートドライブ(SSD)用 M.2 モジュールをサポート: <ul style="list-style-type: none">128 GB Eco SSD256 GB Eco SSD512 GB Eco SSD*1 TB Eco SSD*
インターフェース	
Ethernet	3 x RJ45 Ethernet 10/100/1000 Mbps
USB (外付け)	4 x USB 3.1 Gen2 (最大 10 Gb/秒)
DisplayPort	<ul style="list-style-type: none">デジタルモニタの接続、DisplayPort 標準バージョン 1.4 をサポート1 x DP++¹、60 Hz で最高 4096 x 2160 ピクセルの解像度をサポート
キーボード、マウス	USB ポートによる接続
オペレーティングシステム	
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">Windows 10 LTSC2021OS なし

¹ DP++は DisplayPort デュアルモードで、HDMI/DP 信号出力をサポートしています。

* 製品は近日発売予定です。

1.2 装置の構造

1.2.1 装置のインターフェースおよび接続

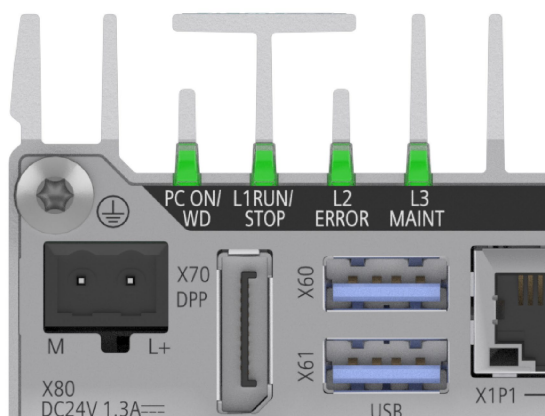


- ① 1 x DisplayPort 接続(X70)
- ② 2 x USB 3.1 ポート、高電流(X60、X61)
- ③ 2 x 10/100/1000 Mbps 用 RJ45 Ethernet 接続(X1P1)および(X2P1)
- ④ 電源ボタン

1.2 装置の構造

- ⑤ LED ディスプレイ
- ⑥ 24 V DC 電源用接続(X80)
- ⑦ 保護導体接続
- ⑧ 1 x 10/100/1000 Mbps 用 RJ45 Ethernet 接続(X3P1)
- ⑨ 2 x USB 3.1 ポート、高電流(X62、X63)

1.2.2 ステータス表示



LED	状態	説明
PC ON/WD	消灯	-
	緑	BIOS ブート準備完了
	緑/黄色に点滅(1 Hz)	BIOS POST 中、電源スイッチオン
	オレンジ色	S4/S5 状態中
	赤色に点滅(1 Hz)	ウォッチドッグのステータス表示:有効
L1RUN/STOP	消灯	-
	緑	ユーザープログラム/コントロールプログラム(ソフトウェアコントローラなど)によりコントロール可能
	赤色	
	オレンジ色	
L2 エラー	消灯	-
	赤色	ユーザープログラム/コントロールプログラム(ソフトウェアコントローラ)
	緑	

LED	状態	説明
	オレンジ色	など)によりコントロール可能
L3 メンテナンス	消灯	-
	オレンジ色	ユーザープログラム/コントロールプ
	緑	ログラム(ソフトウェアコントローラ
	赤色	など)によりコントロール可能

セクション「コントロールレジスタユーザーLED L1/L2/L3 (ページ 80)」で個別の LED の情報を確認できます。

1.3 付属品

Siemens の付属品が装置に対して利用可能です。

その他の付属品はインターネットで検索できます:

- Industry Mall (<https://mall.industry.siemens.com>)
- 拡張コンポーネントと付属品 (https://w3.siemens.com/mcms/pc-based-automation/en/industrial-pc/expansion_components_accessories)

注文できる付属品

付属品	品番
DIN レール	6AG4021-0AA20-0AA1-DIN-Rail
壁取り付け/デスク取り付け	6AG4021-0AA20-0AA2-Wall-mount
垂直取り付け基本装置	6AG4021-0AA20-0AA4-Book-mount 拡張
垂直取り付け標準レール	6AG4021-0AA20-0AA5-Book-mount DIN-Rail
VESA 取り付け	6AG4021-0AA20-0AA6-VESA-mount
リチウムバッテリー	A5E44491494

安全に関する指示

2.1 安全に関する一般的な注意事項



警告

開いている制御キャビネットには、感電死に至る電圧が存在します。
装置を制御キャビネットに設置するとき、開いた制御キャビネットにある一部の領域やコンポーネントが命を危険にさらすような電圧を帯びている場合があります。
これらの領域やコンポーネントに触れる場合、感電によって命を失うことがあります。
キャビネットの電源をオフにしてから、キャビネットを開きます。



警告

システムの設置者は、装置が統合されているシステムの安全に関する責任を負いません。
死亡事故や重傷事故を引き起こす可能性のある故障のリスクがあります。

- 適切な資格を有する担当者のみが作業を行うようにしてください。



警告

安全特別低電圧(SELV)または保護特別低電圧(PELV)の操作のために設計されている装置。
これは、電子回路が、電圧が通常の条件や他の回路の地絡事故を含むシングルエラーの状態でも 30 V AC (RMS)、42.4 V AC ピーク、60 V DC を上回ることはないことを意味します。

システムの拡張

通知

システムの拡張による損傷

装置およびシステムの拡張装置が故障している可能性があり、機械やプラント全体に影響を及ぼすことがあります。

拡張を取り付けると、装置、機械、またはプラントが損傷する可能性があります。装置およびシステムの拡張装置が、無線妨害抑制に関する安全規則や規制に違反している可能性があります。システム拡張を取り付けたり交換したりして装置を破損した場合は、保証が無効になります。

システムの拡張については、以下のことに注意してください。

- システムの拡張には、この装置用に設計された拡張装置のみを設置します。テクニカルサポートチームまたはお使いの PC を購入した販売店にお問い合わせいただき、安全に取り付け可能なシステム拡張装置を確認してください。
- 電磁両立性 (ページ 58) の要件に準拠します。

警告

拡張カードを通じた火災のリスク

拡張カードにより、追加熱が生成されます。装置が過熱して火が発生する可能性があります。

注記: 拡張カードの安全および設置手順に従ってください。

バッテリー

**破裂して有毒物質を放出するリスク**

リチウムバッテリーの不適切な取り扱い、バッテリーの爆発の原因になる可能性があります。

バッテリーが爆発して有害物質が放出されると、人体に重大な傷害を負う可能性があります。破損したバッテリーは、装置の機能を危険にさらします。

リチウムバッテリーを扱う際は、以下の点に注意します。

- 使用済みバッテリーは適切な時期に交換してください(操作説明書のセクション「バックアップバッテリーの交換 (ページ 43)」を参照)。
- リチウムバッテリーは、同じバッテリーか SIEMENS によって推奨されているタイプとのみ交換します(商品番号:A5E44491494、タイプ番号:BR-2450A)。
- 製品メンテナンスのご要望がある場合は、Siemens のテクニカルサポート (ページ 87)に問い合わせてください。
- リチウムバッテリーを火に投げ込まないでください。バッテリー本体へのハンダ付け、再充電、分解、短絡、逆極性、100°C以上の加熱を行わないでください。直射日光、湿気、結露から保護してください。

2.1 安全に関する一般的な注意事項

高周波放射

通知
<p>無線周波数(RF)放射に対するイミュニティに準拠</p> <p>装置は、技術仕様の電磁環境適合性(EMC)の仕様に順守することで、RF 放射に対するイミュニティを向上しています。</p> <p>指定されたイミュニティ制限を超過する放射は、装置の機能を損ない、故障や怪我や損傷の原因となることがあります。</p> <p>技術仕様の RF 放射へのイミュニティに関する情報をお読みください。</p> <p>意図されていない操作状況</p> <p>携帯電話などの高周波放射は、装置の機能に干渉することがあり、故障を生じさせることがあります、これにより怪我をしたり、所有物が損傷を受けたりすることがあります。</p> <p>高周波放射を回避:</p> <ul style="list-style-type: none">• 装置が配置されている環境から放射源を取り除きます。• 放射装置の電源をオフにします。• 放射装置のラジオ出力を下げます。• 技術仕様に記載されている電磁両立性の情報に準拠します。

ESD ガイドライン

ESD 記号のラベルを静電気敏感性装置に貼ります。



通知
<p>静電気敏感性装置(ESD)</p> <p>静電気に敏感なコンポーネントに触れる場合、人間が知覚できる電圧よりずっと低い電圧によって、そのコンポーネントが破損する可能性があります。</p> <p>静電放電によって破損する可能性のあるコンポーネントで作業する場合は、「ESD ガイドライン (ページ 58)」に従ってください。</p>

2.2 サイバーセキュリティ情報

シーメンスは、弊社製品およびソリューションに対して、プラント、システム、機械およびネットワークの安全な運転をサポートする Industrial Cybersecurity 機能を提供します。

プラント、システム、機械およびネットワークをサーバー脅威から守るために、全体的な最新の Industrial Cybersecurity コンセプトを実装し、継続的に維持することが必要です。シーメンスの製品とソリューションは、そのようなコンセプトの 1 要素を形成します。

お客様は、プラント、システム、機械およびネットワークへの不正アクセスを防止する責任があります。システム、機械およびコンポーネントは、企業内ネットワークのみに接続するか、必要な範囲内かつ適切なセキュリティ対策を講じている場合のみ（例：ファイアウォールやネットワークセグメンテーションの使用など）インターネットに接続することとすべきとシーメンスは考えます。

Industrial Cybersecurity 保護対策の実施に関する詳細については、こちら (<https://www.siemens.com/global/en/products/automation/topic-areas/industrial-cybersecurity.html>) をご覧ください。

シーメンスの製品とソリューションは、セキュリティをさらに強化するために継続的に開発されています。シーメンスは、利用可能になったらすぐ製品の更新プログラムを適用し、常に最新の製品バージョンを使用することを強くお勧めします。サポートが終了した製品バージョンを使用すること、および最新の更新プログラムを適用しないことで、お客様はサイバー脅威にさらされる危険が増大する可能性があります。

常に製品の更新プログラムに関する最新情報を得るには、ここから (<https://new.siemens.com/global/en/products/services/cert.html>) Siemens Industrial Cybersecurity RSS Feed を購読してください。

2.3 データ保護

Siemens は、データ最小化(プライバシーバイデザイン)に関する要件を始め、データ保護指針を順守しています。つまり、この SIMATIC 製品には以下が該当します。この製品が処理または保存するのは技術機能データ(タイムスタンプなど)のみであり、いかなる個人情報も処理または保存しません。ユーザーがこのデータを他のデータ(シフト計画など)にリンクするか、またはユーザーが同じメディア(ハードディスクなど)に個人情報を保存し、プロセスに個人参照を作成する場合、ユーザーはデータ保護に関する指針を確実に満たす必要があります。

2.4 サードパーティのソフトウェア更新の免責事項

この製品にはサードパーティのソフトウェアが含まれています。Siemens のソフトウェア更新サービス契約の一部としてリリースされているか、Siemens AG により公式にリリースされている場合のみ、Siemens AG はサードパーティのソフトウェアの更新パッチの保証を提供します。それ以外の場合は、更新パッチはお客様自身の責任で扱われます。ソフトウェア更新サービスの内容についての詳細は、インターネット(ソフトウェア更新サービス (<https://new.siemens.com/us/en.html>))で参照できます。

2.5 使用上の注記

通知
検証されていないプラント操作の場合に想定される機能制限 装置は、技術標準に基いて、テストおよび認証されています。まれに、機能制限がプラント操作中に発生することがあります。 機能制限を回避するには、プラントの正常な動作を検証する必要があります。

通知
クリーニング 湿った布で筐体の表面を拭き、装置に水が入らないようにしてください。

注記

オペレーティングシステムをインストールした後、システムのセキュリティを確保するためにウイルス対策ソフトウェアをインストールすることを強く推奨します。

装置の設置と接続

3.1 設置の準備

3.1.1 納品パッケージの確認

手順

1. 納品を受け入れるとき、梱包材に輸送による損傷がないか確認します。
2. 納品時に輸送による損傷が見つかった場合、担当の出荷会社に対して苦情を申し立ててください。直ちに輸送中の損傷状況を搬送者に確認させてください。
3. 取り付け場所で装置の梱包を解いてください。
4. 再度ユニットを運搬する必要が生じたときのために、元の梱包材を保管しておいてください。
5. 梱包材の内容物および注文した付属品が揃っていること、損傷がないことを確認します。

注記

輸送および保管時の装置の損傷


装置が梱包されずに輸送または保管された場合、衝撃、振動、圧力、および湿気が、保護されていないユニットに影響を及ぼした可能性があります。損傷された梱包材は、周囲条件が既に装置に大きな影響を与えていることを示しています。

装置が損傷されている可能性があります。

元の梱包材を捨てないでください。運搬および保管時に装置を包装します。

3.1 設置の準備

- 6. 梱包の中身が不完全な場合、破損している場合、または注文内容と合っていない場合は、直ちに納入サービスの責任者に連絡してください。

 警告
<p>破損した装置が原因の電氣的衝撃および火災の危険</p> <p>破損した装置は、危険な電圧にさらされ、機械またはプラントで火災を引き起こす可能性があります。破損した装置は、予測できない特性を持ち、予測できない状態になっています。</p> <p>死亡または重傷の恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 損傷した装置が設置されたり動作されたりしないようにします。• 損傷した装置にラベルを付け、しっかり保管してください。• 速やかな修理のために装置をお送りください。
通知
<p>結露による損傷</p> <p>寒い時期などに輸送中に装置が低温または極端な温度変動にさらされると、装置の表面または内部に水滴が付くことがあります。</p> <p>水滴は電気回路の短絡の原因となり、装置を損傷します。</p> <p>装置の破損を防止するには、以下のように実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 乾燥した場所で装置の操作や保管を行ってください。• 装置は、起動する前に室温に合わせてください。• 装置を過熱装置からの直接の熱放射に曝さないでください。• 結露が発生した場合、12 時間程度待つか、装置が完全に乾いてからオンにします。

- 7. 付属のマニュアルは、安全な場所に保管してください。初めて装置のコミッショニングを行うとき、あるいはその後の作業で問題が生じたとき、そのマニュアルが必要です。
- 8. 装置の識別データを記録します。

3.1.2 装置の識別データ

修理や盗難の場合は、この識別データをもとに、装置を明確に識別することができます。

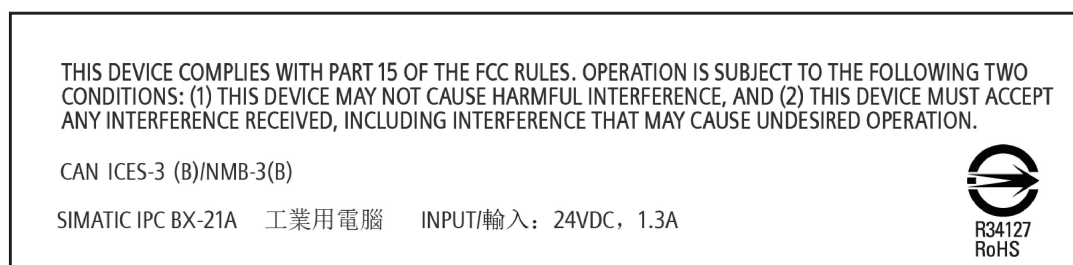
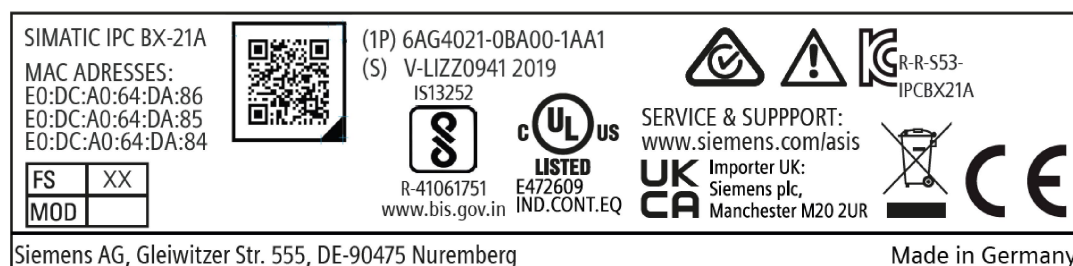
下の表に識別データを入力します。

識別データ	ソース	値
シリアル番号	製品ラベル	S VP ...
注文番号	製品ラベル	6AG4021-0BA00-1AA1
生産バージョン	製品ラベル	FS
Ethernet アドレス 1 (MAC)	製品ラベル	
Ethernet アドレス 2 (MAC)		
Ethernet アドレス 3 (MAC)		

製品ラベル

次の画像は、例として SIMATIC IPC BX-21A の製品ラベルを示しています。

Ethernet アドレスは、BIOS Setup の[メイン] > [詳細] > [周辺機器の設定]でも確認できます。



デジタル銘板の ID リンク



3.1 設置の準備

ID リンクは、IEC 61406 に準拠したグローバルに一意的識別子であり、将来的には製品および製品パッケージに QR コードとして表示されるようになります。

この図は、BusAdapter RJ45 の ID リンクの例を示しています。

ID リンクは右下の黒角の枠で確認できます。ID リンクをクリックすると、製品のデジタル銘板に移動します。

スマートフォンのカメラ、バーコードスキャナー、またはリーダーアプリを使用して、製品またはパッケージラベルにある QR コードをスキャンします。ID リンクを呼び出します。

デジタル銘板には、製品データ、マニュアル、適合宣言、証明書、および製品に関するその他の役立つ情報が含まれています。

注記

記憶媒体のない交換用装置

交換用装置を注文する場合は、装置から SSD を取り外し、新しい装置に挿入します。

3.1.3 許容取り付け位置

以下の取り付け位置が許容されています。

標準レールへの取り付け



垂直取り付け



デスク/壁取り付け



直立取り付け



VESA 取り付け



「一般的な技術仕様 (ページ 64)」セクションで定義されているそれぞれの取り付け位置での操作の許容温度範囲を順守してください。

別のコンポーネントまたはハウジングの壁との次のクリアランス測定値が順守されていることを確認してください。

- 装置の下: ≥ 50 mm
- 装置の上: ≥ 50 mm

3.2 装置の取り付け

3.2 装置の取り付け

3.2.1 取り付け説明

注記

機器がメーカー指定の方法で使用されない場合、機器による正しい保護が提供されない可能性があります。

以下に注意してください。

- この装置は屋内での使用のみが承認されています。
- キャビネット内に設置する場合は、「プログラマブルロジックコントローラを干渉なく設置するための指令 (<https://support.industry.siemens.com/cs/us/en/view/59193566>)」、ならびに関連する DIN/VDE 規定および該当する国固有の規制に従ってください。
- この装置の外部回路はすべて安全特別低電圧(SELV)回路にする必要があります。
- 本装置は、通常の工業環境での使用を目的としています。追加の保護対策(清浄な空気の提供など)がない場合、SIMATIC Box PC は苛性の蒸気や気体にさらされる過酷な環境で操作できません。

本装置は、以下のタイプの取り付けが可能です。


- 標準レールへの取り付け
- デスク/壁取り付け
- 直立取り付け
- 垂直取り付け標準レール
- VESA 取り付け

装置を取り付けるときは、電源コネクタ側を上または下に向けることができます。装置を取り付けるときに方向を調整する場合は、取り付けブラケットの方向が正しいことを確認してください。

しっかりと締め付ける

通知
<p>耐荷重能力の不足</p> <p>壁および垂直取り付けされる取り付け表面に十分な負荷を支える十分な能力がない場合、装置が落下して損傷する可能性があります。</p> <p>壁の取り付け面が、固定部品を含めた装置の総重量の4倍の重量に耐えられることを確認してください。</p>

通知
<p>不適切な固定部品</p> <p>壁および垂直取り付け用に書きで指定されているものとは異なるアンカーやネジを使用すると、安全な取り付けが保証されなくなります。装置が落下して損傷する可能性があります。</p> <p>下の表で指定されているアンカーとネジのみを使用してください。</p>

 警告
<p>壁の荷重支持能力が充分でないと、怪我したり、所有物が損傷を受けたりすることがあります</p> <p>取り付けられている壁の荷重支持能力が充分でないと、装置が落下する可能性があります。これにより、怪我したり、所有物が損傷を受けたりすることがあります。</p> <p>壁が装置の総重量(ブラケットや拡張モジュールも含む)の4倍の荷重を支持できるようにします。装置の総重量は約1kgです。</p>

3.2.2 標準レールへの取り付け

標準レールへの取り付けは、装置をレールに垂直に取り付けるのに適しています。

必要条件

- EN 60715:2001 に準拠した SIEMENS の 35 mm 標準レール TH35-15 1 個
- 標準レールブラケット

標準レールブラケットと4本のネジは、注文バリエーション「標準レール取り付け」に含まれています。

注記

標準レールブラケットの固定には、付属のネジのみを使用してください。ネジが長いと、装置の内部が損傷する可能性があります。

3.2 装置の取り付け

- T10 スクリュードライバ
- M3 ネジ 4 本

取り付け手順



1. 標準レールブラケットを装置の中央に置きます。
2. 付属の M3 ネジ 4 本で標準レールブラケットを固定します(トルク = 0.8 Nm)。
3. 標準レールブラケットが付いた装置を取り付けレールの上に上から置きます。
装置を置くときに傾いていると、標準レールブラケットがしっかりかみ合いません。
4. 標準レールブラケットとかみ合うまで、装置を標準レールに押し付けます。
5. 装置が標準レールにしっかり収まっているかを確認します。

注記

標準レールに垂直に取り付ける場合:

標準レールのアース端子を装置の下部に固定します。

取り外し手順

1. 下側のレールガイドから装置が外れるまで、装置を下に押し下ろします。
2. 装置をレールからずらすように持ち上げます。
3. レールを装置から取り外します。

3.2.3 デスク/壁取り付け

装置を取り付け面に固定するには、デスク取り付けまたは壁取り付けが適しています。

必要条件

- 取り付けブラケット

注記

取り付けブラケットの固定には、付属のネジのみを使用してください。ネジが長いと、装置の内部が損傷する可能性があります。

- T10 スクリュードライバ
- アンカー2個と M3 ネジ 4本

手順



1. 取り付け面に固定用穴の印を付けます。
2. 固定用穴を開けます。
3. ドリルで開けた穴にアンカーを挿入します。
4. 取り付けブラケットを装置の背面に取り付けます。取り付けブラケットのキーホールポアホール方向に注意してください。
5. 付属の M3 ネジ 4本で取り付けブラケットを固定します(トルク = 0.8 Nm)。



6. 取り付けブラケットを使用して装置を取り付け面に配置します。
7. 装置をネジで留めます。

3.2 装置の取り付け

3.2.4 直立取り付け

直立取り付けは、装置の垂直取り付けに適しています。対応する取り付けブラケットを使用すると、標準レール取り付けまたは壁取り付けよりも少ないスペースで取り付けることができます。

必要条件

- 取り付けブラケット

注記

取り付けブラケットの固定には、付属のネジのみを使用してください。ネジが長いと、装置の内部が損傷する可能性があります。

- T10 スクリュードライバ
- アンカー2個と M3 ネジ2本

手順 – 直立取り付け



1. 取り付けブラケットを取り付け面に配置します。
2. 固定用穴に印を付けます。
3. 固定用穴を開けます。
4. ドリルで開けた穴にアンカーを挿入します。
5. 取り付けブラケットを2本のネジで固定します。
6. 付属の M3 ネジ2本で装置を取り付けブラケットに固定します(トルク = 0.8 Nm)。

3.2.5 垂直取り付け標準レール

標準レールへの垂直取り付けは、装置を垂直に取り付けるのに適しています。対応する取り付けブラケットを使用すると、壁取り付けよりも必要なスペースが少なくなります。

必要条件

- 取り付けブラケット

注記

取り付けブラケットの固定には、付属のネジのみを使用してください。ネジが長いと、装置の内部が損傷する可能性があります。

- T10 スクリュードライバ
- M3 ネジ 2 本

手順 – 垂直取り付け



1. 取り付けブラケットを装置の背面に取り付けます。
2. 付属の M3 ネジ 2 本で取り付けブラケットを固定します(トルク = 0.8 Nm)。
3. 取り付けブラケットのある装置を取り付けレールに配置します。

3.2 装置の取り付け

3.2.6 VESA 取り付け

必要条件

- 取り付けブラケット

注記

取り付けブラケットの固定には、付属のネジのみを使用してください。ネジが長いと、装置の内部が損傷する可能性があります。

- T10 スクリュードライバ
- M3 ネジ 4 本

手順



1. 取り付けブラケットを装置の背面に取り付けます。
2. 付属の M3 ネジ 4 本で取り付けブラケットを固定します(トルク = 0.8 Nm)。

3.3 装置の接続

3.3.1 接続に関する注意



警告

火災と感電のリスク

オン/オフスイッチでは、装置は電源から切り離されません。装置が不適切に開かれたり、欠陥があったりする場合には、電気ショックのリスクがあります。装置または接続線に損傷がある場合、火災が発生するリスクもあります。これは死亡事故や重傷事故を引き起こすことがあります。

したがって、次のように装置を保護する必要があります。

- 装置を使用していないとき、または装置に欠陥がある場合には、電源プラグを取り外してください。電源プラグには、自由にアクセスできる必要があります。
- キャビネットの取り付けの場合は、中央の電源絶縁スイッチを使用します。



警告

落雷のリスク

落雷がメインケーブルおよびデータ伝送ケーブルに入り、人が感電する場合があります。

落雷は、死亡、重傷、および火傷の原因になる可能性があります。


次の注意に従ってください。

- 雷雨が近づいているとき、早めに装置を主電源から切り離してください。
- 雷が鳴っている間は、メインケーブルおよびデータ伝送ケーブルに触らないでください。
- 電気ケーブル、配線盤、システムから十分な距離をとります。

3.3 装置の接続

通知
I/O デバイスによるエラー I/O デバイスの接続により装置のエラーが生じることがあります。 この結果、作業者の怪我や機械やプラントの損傷を招く場合があります。 I/O デバイスを接続する際は、以下に注意します。 <ul style="list-style-type: none">• I/O デバイスのマニュアルを読みます。マニュアルのすべての指示に従います。• 産業用途に対して承認されている I/O デバイスのみを EN 61000-6-2 と IEC 61000-6-2 に従って接続します。• ホットプラグ対応でない I/O デバイスは、装置が電源から切断された後にのみ、接続できます。

通知
再生フィードバックを通じた損傷 接続されているか設置されているコンポーネントによる対地電圧の再生フィードバックにより装置が損傷を受けることがあります。 たとえば接続されているか内蔵 I/O である USB ドライブは、装置へ電圧を供給することが許可されていません。再生フィードバックは一般的には許可されていません。

 注意
端子接続のコネクタでは、銅ケーブルを使用してください。 24 V DC 電源ケーブルから 24 V DC 電源コネクタなど、端子で装置に接続するすべての供給ラインに銅(Cu)ケーブルを使用します。 Utiliser des câbles en cuivre sur les connexions à bornes Utilisez des câbles en cuivre (Cu) pour tous les câbles d'alimentation qui sont raccordés à l'appareil par des bornes, par exemple les câbles d'alimentation 24 V CC sur le connecteur d'alimentation 24 V CC.

3.3.2 保護導体接続

接続された保護導体は、金属の筐体から危険な電荷を放出します。そのような障害が発生する時には、保護導体を流れる電流によって上流側の保護装置が作動され、マシンが電源から切断されることがあります。

保護導体は、外部電源ケーブル、信号ケーブル、または接地する I/O モジュール用のケーブルによって生成される干渉の放電も改善します。

保護導体の接続には、以下の記号のラベルが貼られます。



感電と火災のリスク

不具合のある装置には高電圧が発生している場合があります、これにより火災が発生したり、触れることによって感電したりする可能性があります。これは死亡事故や重傷事故を引き起こすことがあります。

- 装置を作動させる前に、保護導体に接続します。
- 装置の PE 端子が、装置が取り付けられている制御キャビネットまたはシステムの保護導体に接続している必要があります。
- 決して保護導体なしで装置を作動させないでください。
- 装置に不具合がある場合、直ちに使用を停止し、不具合あることを示すラベルを付けます。

注記

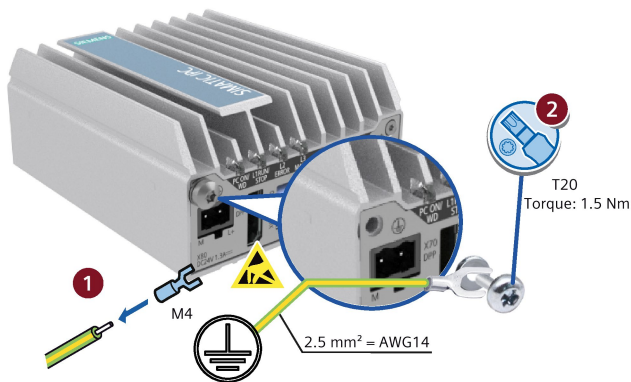
外部ボンディング機器は、4 mm²以上の断面積を備えた導体の有効な接続を提供している必要があります。

必要条件

- T20 スクリュードライバ
- M4 用ケーブルラグ
- 最小断面積 2.5 mm²の(AWG14)が使用された保護導体

3.3 装置の接続

手順



1. ケーブルラグを保護導体に固定します。
2. M4 スレッドを使って、ケーブルラグを装置の保護導体接続部にしっかりと留めてください(記号が示された部分に注目)。

保護導体を装置が設置されているキャビネットまたはプラントの保護導体接続部に接続します。

3.3.3 電源の接続

注記

この機器は、IEC/EN/UL/CSA 61010-1 に従って、安全特別低電圧(SELV)または保護特別低電圧(PELV)、および制限エネルギー回路で動作するように設計されています。

注記

24 V DC 電源は、装置の入力データに適合したものにする必要があります(「技術データ(ページ 64)」を参照)。

注記

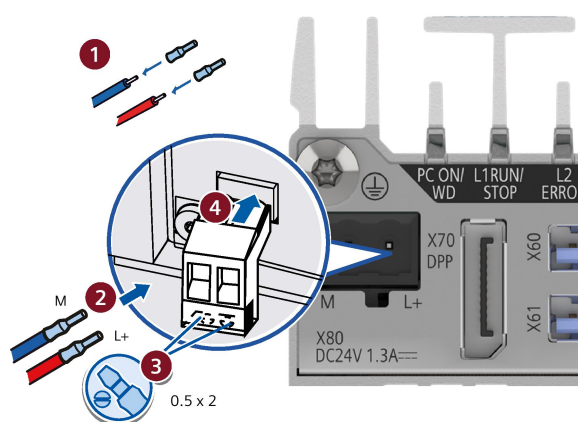
ターミナルブロックは、締め付けポイントで複数の個別の導体には対応していません。

必要条件

- 保護導体が接続されていること。
- 供給されている端子を使用していること。
- 2 コアケーブルは次の要件に適合しています:
 - 0.75 mm²~2.5 mm² の銅(Cu)ケーブルの断面
 - 定格温度 75 °C

- 締め付けトルク:0.56 Nm
- 約 3 mm のブレードのマイナスドライバ。

手順



- 1 2 芯ケーブルは別途ケーブルヘッドに接続してください。
- 2 ケーブルヘッドを電源ターミナルブロックに接続します。
- 3 接続端子を印付けされた位置に接続する。
- 4 ターミナルブロックを電源インターフェース X80 に差し込みます。

3.3.4 ネットワークへの装置の接続

以下のオプションは、既存または計画中のシステム環境/ネットワークへの装置の統合に使用することができます。

Ethernet

SIMATIC S7 などのオートメーション装置との通信やデータ交換には、統合 Ethernet インターフェース(10/100/1000 Mbps)を使用できます。

この機能を使用するには、適切なソフトウェアが必要です。STEP 7、WinCC、SIMATIC NET をご用意ください。

Industrial Ethernet

Industrial Ethernet により装置と他のコンピュータの間にネットワークを確立できます。オンボード LAN インターフェースは、10/100/1000 Mbps のデータ伝送速度をサポートする、ツイストペア TP インターフェースです。

注記

1000 Mbps での操作には、カテゴリ 6 の Ethernet ケーブルが必要です。

3.3 装置の接続

SIMATIC NET

このソフトウェアパッケージを使用すると、フィールドアンドコントロールレベルの革新的ネットワークを作成、操作、および設定することができます。この情報は SIMATIC NET マニュアルコレクション CD で確認できます。ソフトウェアパッケージとマニュアルは製品パッケージに含まれていません。

追加情報

テクニカルサポート (ページ 87) で追加情報を確認できます。

装置および装置機能のコミッショニング

4.1 コミッショニングに関する一般情報



注意

火傷の危険

装置の表面は 65 °C を超える温度に達することがあります。これらの装置は、対応するラベルで識別されます。

- 保護されていない接触部は火傷を引き起こす可能性があります。
- 運転中は、装置に直接触れてはなりません。
- 必ず適切な保護手袋を着けて装置に触れます。

必要条件

- 装置が電源に接続されていること。
- 保護導体が接続されていること。
- 接続ケーブルが正しく差し込まれていること。
- 次のハードウェアは、最初のコミッショニングのために利用できること。
 - 1つの USB キーボード
 - 1つの USB マウス
 - 1台のモニター/ディスプレイ

4.2 装置の電源をオン/オフ

オペレーティングシステムがプリインストールされていない設定の場合、オペレーティングシステムのプロバイダーに連絡して、まずオペレーティングシステムをインストールしてください。

4.2 装置の電源をオン/オフ

初期起動の後、ドライブにプリインストールされているオペレーティングシステムが装置で自動的に設定されます。

通知

インストール エラー

デフォルト値を BIOS Setup で変更したか、インストール中に装置をオフにした場合、オペレーティングシステムを正しくインストールできません。装置の操作安全とプラントが危険にさらされます。

すべてのインストールプロセス中にわたって、装置をスイッチオフしないでください。BIOS Setup でデフォルト値を変更しないでください。

手順 - 装置の電源をオン

1. 装置は 24 V が供給されるとすぐに起動します。
注記:
[PC ON/WD] LED が点灯します。装置がセルフテストを実行します。セルフテスト中に、次のメッセージが表示されます。
Esc キーを押して起動オプションを表示
2. メッセージが消えるまで待ちます。
3. 画面の指示に従います。

手順 - 装置の電源をオフ

装置の電源をオフにするには、常に[スタート]>[シャットダウン]の機能を選択します。

装置の保守と修理

5.1 保守の周期

システムの高可用性を維持するために、Siemens は摩耗のある PC コンポーネントのいくつかを以下の表に示されている交換周期で交換することを推奨します。


構成部品	交換周期:
SSD	使用しているタイプによって異なります*
CMOS バックアップバッテリー	5 年

*フラッシュドライブ(SSD)の交換間隔は、使用状況によって大きく異なります。特定の間隔を指定することはできません。

5.2 修理に関する情報

修理を行う

有資格者のみが、装置の修理を許可されています。

 警告
<p>装置に許可されていない開口部があったり、装置で不適切な修理が行われたりすると、装置が深刻な損傷を受け、ユーザーが危険にさらされることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ず装置を開く前に、電源プラグを引き抜きます。 システムの拡張には、この装置用に設計された拡張装置のみを設置します。その他の拡張デバイスをインストールすると、装置を破損したり、RF 抑制に関する安全要件や規則に違反する可能性があります。テクニカルサポートチームまたはお使いの PC を購入した販売店にお問い合わせいただき、取り付ける必要のあるシステム拡張装置を確認してください。

注記

システム拡張を取り付けたり交換したりして装置を破損した場合は、保証が無効になります。



注意

静電気敏感性装置(ESD)

装置には、帯電によって破損する可能性のある電子コンポーネントが搭載されています。このため、マシンや設備に故障や損傷が生じる恐れがあります。

装置を開くときは予防策を講じてください。詳細については、「ESD ガイドライン (ページ 58)」の章を参照してください。

装置の掃除

装置を清掃する必要がある場合は、乾燥した ESD クリーニングクロスを使用してください(ESD 保護措置に準拠)。

責任の制限

装置のすべての技術仕様と認可は、有効な CE 認可(CE マーク)の付いた拡張コンポーネントを使用している場合にのみ適用されます。関連する説明書の拡張コンポーネントの設置手順に従う必要があります。


本装置の UL 規格の認定は、UL 認定部品を「適合条件」に従って使用した場合に限って適用されます。

我々は、サードパーティ製の装置またはコンポーネントの使用によって生じた機能の制限について責任を負うものではありません。

5.3 ハードウェアの設置と取り外し

5.3.1 バックアップバッテリーの交換

交換の前に

 警告
<p>破裂して有毒物質を放出するリスク</p> <p>間違ったタイプのバッテリーを使用すると、爆発や火事など危険が発生する可能性があります。</p> <p>リチウムバッテリーを不適切に取り扱っても、バッテリーが爆発する可能性があります。バッテリーが爆発して有害物質が放出されると、人体に重大な傷害を負う可能性があります。古いバッテリーを使うと装置の機能が損なわれます。</p> <p>リチウムバッテリーを扱う際は、以下の点に注意します。</p> <ul style="list-style-type: none">• バッテリーは、5年毎に交換してください。• リチウムバッテリーは、製造元によって推奨されているタイプのバッテリーのみと交換します。新しいリチウムバッテリーはULに認定され、次の要件を満たす必要があります。<ul style="list-style-type: none">– タイプ:BR-2450A– 定格電圧:3 VDC– 最大異常充電電流:5 mA• 製品メンテナンスのご要望がある場合は、Siemensのテクニカルサポート(ページ87)にお問い合わせください。• リチウムバッテリーを火に投げ込まないでください。バッテリー本体へのハンダ付け、再充電、分解、短絡、逆極性、100°C以上の加熱を行わないでください。直射日光、湿気、結露から保護してください。



警告

Risque d'explosion et d'émission de substances nocives

l'installation d'une pile ou d'un accumulateur de type inadéquat peut provoquer un DANGER d'explosion ou d'incendie.

Une manipulation non conforme des piles au lithium peut conduire à leur explosion.

L'explosion des piles et l'émission de polluants qui en résulte peuvent entraîner de graves lésions corporelles. Des piles usagées constituent un danger pour le fonctionnement de l'appareil.

Observez les remarques suivantes lorsque vous manipulez des piles au lithium :

- Remplacez la pile tous les 5 ans.
- Remplacez la pile au lithium uniquement par une pile du type recommandé par le constructeur. La nouvelle pile au lithium doit avoir une certification UL et satisfaire aux exigences suivantes :
 - Type : BR-2450A
 - Tension nominale : 3 V CC
 - Courant de charge anormal max. : 5 mA
- Pour toute demande concernant la maintenance du produit, contactez le support technique (ページ 87) Siemens.
- Ne jetez pas au feu des piles au lithium, n'effectuez pas de soudage sur la pile, ne la rechargez pas, ne l'ouvrez pas, ne la court-circuitez pas, n'intervertissez pas les pôles, ne la chauffez pas à plus de 100 °C et protégez-la de l'ensoleillement direct, de l'humidité et de la condensation.

通知

バッテリーの廃棄

バッテリーは家庭ごみには相当しません。ユーザーは、使用済みバッテリーを返却する法的義務があります。

使用済みバッテリーは特別管理廃棄物に相当し、環境を汚染します。バッテリーを適切に廃棄しない場合、ユーザーは訴追の対象となる可能性があります。

バッテリーの廃棄時には次の指示に従います。

- 使用済みバッテリーは、地域の法規に従って危険廃棄物として廃棄してください。
- 使用済みバッテリーは、公共の収集場所に返却できるほか、当該タイプのバッテリーが販売されている場所であればどこにでも返却できます。
- バッテリーを入れる容器に「使用済みバッテリー」と記してください。

注記

使用済みバッテリーの廃棄に関する地域の規制に従ってください。

注記

バッテリーの交換は非危険領域でのみ行ってください。

必要条件

- 装置が取り外されていること。
- 装置が電源から切り離されており、すべての接続ケーブルが取り外されていること。
- 装置が冷却されていること。

ツール

次のツールを使用してバッテリーを交換できます。

- T20 スクリュードライバ
- T8 スクリュードライバ

手順**通知****時間が消去される可能性があります**

バッテリーの交換に 30 秒以上かかると時間は消去されます。装置は同期しなくなります。時間で管理して実行されるプログラムは実行されなくなるか、間違った時間に実行されます。

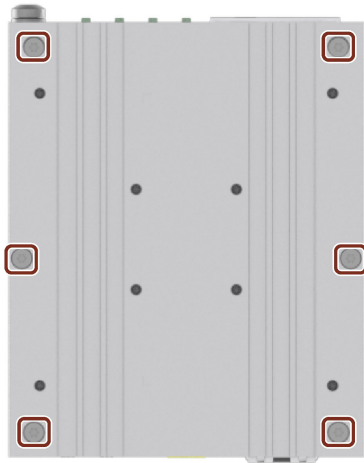
プラントに損傷を与える可能性があります。

- 装置の時間をリセットします。

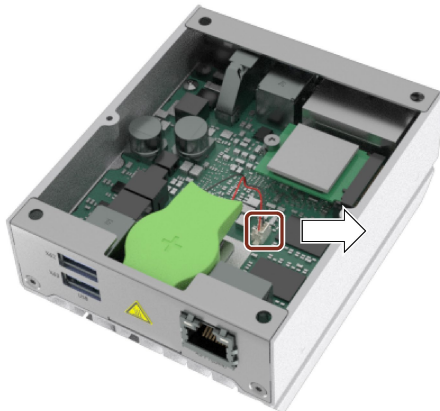
5.3 ハードウェアの設置と取り外し

バックアップバッテリーを取り外すには次のステップを実行します。

1. 保護導体接続を取り外します。
2. 装置背面の 6 本のネジを取り外し、カバーを取り外します。



3. バッテリーケーブルの接続プラグを抜きます。



4. バッテリーをベルクロテープから緩めます。

バックアップバッテリーの設置

新しいバックアップバッテリーを設置するには、次のステップを実行します。

1. 新しいバッテリーをベルクロテープの上に置いて挿入します。

注記

ケーブル接続がプリント基板の方向を向いていることを確認してください。

2. 以前に取り外したバッテリーケーブルコネクタをマザーボードコネクタに再度差し込みます。

3. 装置の背面にある 6 本のネジを締めてカバーを閉じます。
4. 保護導体接続を設置します。

5.3.2 SSD の交換

必要条件

- 装置が取り外されていること。
- 装置が電源から切り離されており、すべての接続ケーブルが取り外されていること。
- 装置が冷却されていること。

ツール

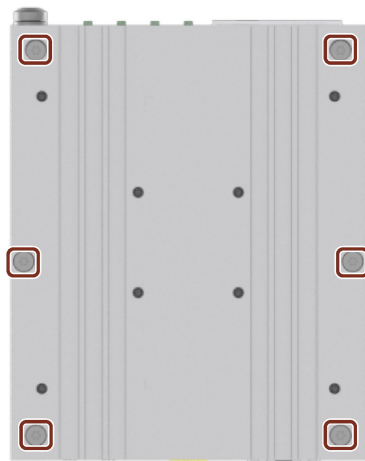
次のツールを使用して SSD を交換できます。

- T20 スクリュードライバ
- T8 スクリュードライバ

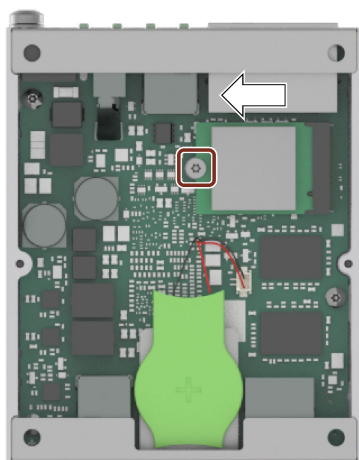
SSD の取り外し

SSD を取り外すには、次のステップを実行します。

1. 保護導体接続を取り外します。
2. 装置背面の 6 本のネジを取り外し、カバーを取り外します。



3. SSD の印の付いたネジを緩めて取り外します。

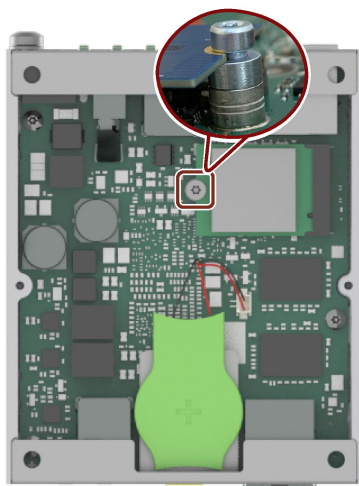


4. サーマルパッドを取り外し、SSD をプラグから矢印の方向に慎重に引き抜きます。

SSD の設置

SSD を設置するには、次のステップを実行します。

1. SSD をプラグコネクタに挿入します。
2. 取り外したネジとサーマルパッドを元に戻します。
注記:SSD ボードが組み立てネジの頭とスペーサーの間にあることを確認します。



3. 筐体を再度閉じます。これを行うには、取り外しのステップを逆の順序で実行して進めます。

5.4 オペレーティングシステム、ソフトウェア、ドライバのインストール

5.4.1 オペレーティングシステムのインストール

オペレーティングシステムのインストール

ターゲットシステムの工場出荷時の設定(つまり、ボリュームパーティション、デバイスドライバがインストールされているオペレーティングシステム、および SIEMENS ソフトウェア製品)を復元できます。これにより、装置が損傷した場合に迅速に復元できます。

下記も参照

Microsoft® Windows® 10

(<https://support.industry.siemens.com/cs/ww/en/view/109749498>)

5.4.2 ドライバおよびソフトウェアのインストール

必要条件


- Windows 10 オペレーティングシステムが IPC にインストールされています。
- マウス、モニター、キーボードを PC に接続する必要があります。
- また、付属の USB スティックを PC に接続します。

ドライバおよびソフトウェアのリスト

次のドライバおよびソフトウェアを Windows 10 にインストールする必要があります。

オペレーティングシステム	必要なドライバおよびソフトウェア
Windows 10	<ul style="list-style-type: none"> • Step1: Intel® Chipset Device Software • Step2: Intel® Converged Security Engine Driver • Step3: Intel® Network Connections Driver • Step4: Intel® HD Onboard Graphics Driver • Step5: Intel® Programmable Services Engine Driver • Step6: Intel® Serial IO Driver • Step7: Intel® Graphics Command Center


手順

1. 付属の USB スティックを USB ポートに接続します。
2. プログラム「START_DocuAndDrivers」を起動します。
3. インデックスから[ドライバ]を選択します。
4. 装置とオペレーティングシステムを選択します。
5. 必要なドライバを選択します。
6. 以下のステップに従って、アイコンをクリックし、必要なドライバをインストールします。

注記

Windows オペレーティングシステムを新規にインストールする場合は、必要に応じて、他のすべてのドライバの前にチップセットドライバをインストールする必要があります。

ステップ 1:チップセットドライバのインストール

1. [Step1: Intel® Chipset Device Software]をクリックします。
2. をクリックして、チップセットドライバをインストールします。
3. [次へ]をクリックして、続行します。
4. [同意する]をクリックして、ライセンス契約に同意します。

5.4 オペレーティングシステム、ソフトウェア、ドライバのインストール


5. [インストール]をクリックして、コンピュータがインストールを開始できるようにします。

インストールが開始されます。


6. [完了]をクリックします。

チップセットのインストールが完了しました。


ステップ 2:セキュリティエンジンドライバのインストール

1. [Step2: Intel® Converged Security Engine Driver]をクリックします。
2.  をクリックして、セキュリティエンジンドライバをインストールします。
3. [次へ]をクリックして、続行します。
4. [使用許諾契約の条項に同意する]をクリックして、ライセンス契約に同意します。
5. [次へ]をクリックし続けて、続行します。
6. [完了]をクリックします。

ステップ 3:ネットワークドライバのインストール


1. [Step3: Intel® Network Connections Driver.]をクリックします。
2.  をクリックして、ドライバをインストールします。

ステップ 4:グラフィックドライバのインストール


1. [Step4: Intel® HD Onboard Graphics Driver.]をクリックします。
2.  Installer.exe をクリックして、ドライバをインストールします。
3. [インストールを開始]と[同意する]ボタンをクリックして、[Readme ファイルの情報]を確認し、次に進みます。
インストールが開始されます。
4. [開始]をクリックして、続行します。
5. [完了/リブート]をクリックして、変更を有効にするためにコンピュータを再起動します。

5.5 リサイクルと廃棄処分


ステップ 5: プログラマブルサービスエンジンドライバのインストール

1. [Step5: Intel® Programmable Services Engine Driver]をクリックします。
2. をクリックして、ドライバをインストールします。

ステップ 6: シリアル I/O ドライバのインストール

1. [Step6: Intel® Serial I/O Driver]をクリックします。
2. をクリックして、ドライバをインストールします。
3. [次へ]をクリックして、続行します。
4. [使用許諾契約の条項に同意する]をクリックして、ライセンス契約に同意します。
5. [次へ]をクリックし続けて、続行します。
6. [完了]をクリックします。

ステップ 7: グラフィックスコマンドセンターのインストール

1. [Step7: Intel® Graphics Command Center]をクリックします。
2. をクリックして、ドライバをインストールします。

5.5 リサイクルと廃棄処分

汚染物質のレベルが低いいため、これらの操作説明書で説明されている装置は、リサイクル可能です。環境的に許容されるリサイクルや旧型機の処分については、承認された電子廃棄物処理センタにお問合せください。

技術仕様

6.1 認証と認可

注記

適用性

以下に、使用できる承認を示します。装置本体の場合、製品ラベルおよびパッケージラベルに表示されている認証となります。

ISO 9001 認証

すべての製造プロセス(オートメーションの製品、システム、ソリューションの開発、製造、販売、サービス)のための Siemens 品質管理システムは、ISO 9001:2015 の要件を満たしています。

これは DQS(品質管理システムの認証のためのドイツ社会)により認定されています。

認証登録番号 001323 QM15。

ソフトウェア使用許諾契約

装置にソフトウェアが事前インストール済みで供給されている場合、対応するライセンス契約に従わなければなりません。

CE マーキング



EMC 指令:

電磁環境適合性(EMC)に関する加盟国家の法律および行政上の規制の合意事項についての、2014年2月26日の欧州議会および評議会の2014/30/EU指令。官報EU L96(29/03/2014)の79–106ページ(2016年4月20日から)

6.1 認証と認可

RoHS 指令:

電気機器および電子機器の特定の危険物質を使用することを制限するための 2011 年 6 月 8 日の欧州理事会および欧州議会の 2011/65/EU 指令。EU 官報 L174、2011 年 1 月 7 日、88 ~ 110 ページ。

EMC EN IEC 61000-6-1、EN IEC 61000-6-2、EN IEC 61000-6-3、EN IEC 61000-6-4;

RoHS EN IEC 63000:2018

FCC およびカナダ

米国	
連邦通信委員会 無線外乱の記述	この機器は、FCC ルールのパート 15 に従ってクラス B デジタル装置の制限に準拠するように、テストされ、確認されています。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに有害な干渉を防止する適切な防護策を提供できるように設計されています。本装置は、無線周波数のエネルギーを生成、使用し放射することができます。取扱説明書に従わないで据え付け/操作が行われると、無線通信に有害な干渉を発生させる可能性があります。装置が住宅地で使用されると有害な干渉を発生する可能性があり、その場合ユーザーは自費でその外乱を修正することを要求されます。
シールドケーブル	FCC の規定に従って本装置を維持するために、シールドケーブルを使用する必要があります。
変更	メーカーによって承認されていない変更や修正には、装置を使用するユーザーの権限が無効になる可能性があります。
動作条件	本装置は FCC ルールのパート 15 に準拠しています。動作は、以下の 2 つの条件に従っています。(1)本装置が有害な干渉を発生しないこと、そして(2)本装置は望ましくない操作によって引き起こされる干渉を含め、受信したどんな干渉も受け入れること。

カナダ	
カナダの注意事項	このクラス B デジタル機器はカナダの ICES-003 に準拠しています。
Avis Canadian	Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Responsible party for Supplier's Declaration of Conformity

Siemens Industry, Inc.

Digital Factory - Factory Automation

5300 Triangle Parkway, Suite 100

Norcross, GA 30092

USA

電子メールの送付先: (amps.automation@siemens.com)

UL 認可



装置には次の認可を取得できます。

- アンダーライターズラボラトリーズ(UL)の規格 UL61010-1 および UL61010-2-201 (IND.CONT.EQ)、ファイル E472609 に準拠
- カナダ国際規格 CAN/CSA 第 61010-1-12 および CAN/CSA C22.2 第 61010-2-201

ユーラシア関税同盟の識別情報



- EAC (Eurasian Conformity)
- ロシア、ベラルーシおよびカザフスタンの関税同盟
- 関税同盟の技術規則(TR CU)に準拠する適合性宣言

RCM(オーストラリア/ニュージーランド)



この製品は、EN 61000-6-3 共通規格 - 居住、商業、軽工業の環境の排出基準の要件を満たしています。

This product meets the requirements of the standard EN 61000-6-3 Generic standards - Emission standard for residential, commercial and light-industrial environments.

6.1 認証と認可

韓国認証



この製品は、韓国認定の要件に適合しています。

This product satisfies the requirement of the Korean Certification (KC Mark).

BSMI



この製品は、CNS14336-1(099/09/30)、CNS15936(105)汎用規格の要件を満たしています。

表 6-1 限用物質含有状況標示聲明

設備名稱：Industrial PC, 型號（型式）：IPC BX-21A Equipment name Type designation (Type)						
單元 Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols					
	鉛 Lead (Pb)	汞 Mercury (Hg)	鎘 Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium(Cr ⁺⁶)	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls(PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
外殼	○	○	○	○	○	○
電路板	○	○	○	○	○	○
固態硬碟	-	○	○	○	○	○
線材	○	○	○	○	○	○
備考 1. "超出 0.1 wt %"及"超出 0.01 wt %" 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。 Note 1: "Exceeding 0.1 wt %" and "exceeding 0.01 wt %" indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.						
備考 2. "○" 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。 Note 2: "○" indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.						
備考 3. "-" 係指該項限用物質為排除項目。 Note 3: The "-" indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.						

サプライヤの適合性宣言の責任機関

西門子股份有限公司

臺北市 11503 南港區園區街 3 號 8 樓

電子郵件信箱: (Adscs.taiwan@siemens.com)

BIS



この製品はインドの認証要件を満たしています。

UKCA

本装置は、英国政府の公式統合リストで発表されている IPC 向けの指定された英国規格 (BS) に準拠しています。本装置は、下記の規制および関連修正事項の要件および保護対象項目に適合しています:

- 電磁環境両立性規制 2016 (EMC)
- 電気機器および電子機器の特定の危険物質を使用することを制限するための規制 2012 (RoHS)。

個別の当局の英国適合性宣言は、下記から入手可能です。

Siemens AG
Digital Industries
Factory Automation
DI FA TI COS TT
P.O.Box 1963
D-92209 Amberg

英国適合性宣言は、Siemens Industry Online Support ウェブサイトからも「適合性宣言」(Declaration of Conformity)というキーワードで入手できます。

WEEE ラベル(欧州連合)



廃棄の手順については、地域の法規とセクション「リサイクルと廃棄処分 (ページ 52)」を順守してください。

6.2 指令および宣言

6.2 指令および宣言

6.2.1 電磁環境適合性(工業領域および住宅領域)

電磁環境適合性(EMC)

この製品は、EC 指令 2014/30/EU「電磁環境適合性」の要件を満たしています。

装置は、CE マークに対応する次の適用分野向けに設計されています。

適用範囲	要件項目	
	妨害電波放射	耐ノイズ性
工業地域、住宅地、商業地、 軽工業地域	EN IEC 61000-6-3 +A1、EN IEC 61000-6-4	EN IEC 61000-6-1、EN IEC 61000-6-2、NAMUR NE 21

6.2.2 RoHS 指令

この製品は RoHS 指令(危険物質の制限)に規定されている要件を満たしています。

2011/65/EU

指令への準拠は次の規格に従って確認されています。EN IEC63000

6.2.3 ESD ガイドライン

ESD とは

電子モジュールには、高度に集積されたコンポーネントが装備されています。構造的な理由で、電子コンポーネントは過電圧に、そして必然的に静電放電に対して非常に敏感です。このような電子コンポーネントまたはモジュールには、静電気敏感性装置のラベルが付いています。

以下の略称は通常、静電気敏感性装置に使用されています。

- ESD – 静電気敏感性装置(Electrostatic Sensitive Device)
- ESD – Electrostatic Sensitive Device、共通の国際的名称として

静電気敏感性装置には、適切なシンボルでラベル付けすることができます。



通知

接触による ESD への損傷

静電気敏感性装置(ESD)は、人間が知覚できる電圧よりもさらに低い電圧によって、破損する可能性があります。静電エネルギーを放電せずに、コンポーネントまたはモジュールの電氣的接続に触れた場合、このような電圧が生じる場合があります。

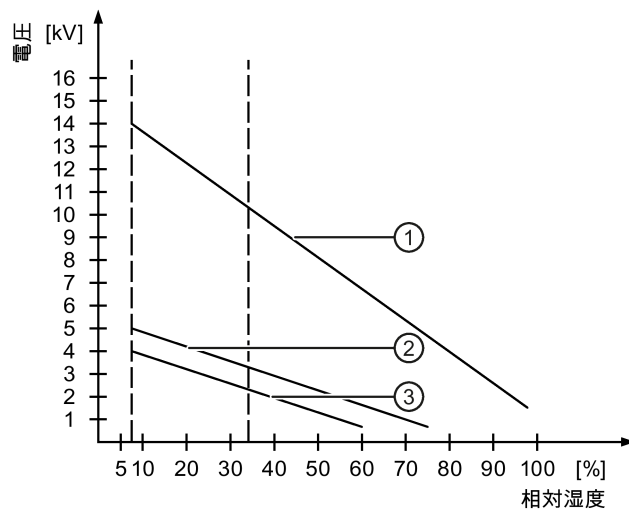
過電圧によるモジュールへの損傷が直ちに検出されず、長い期間の後で明らかになることがしばしばあります。結果は計り知れず、その範囲は予測不可能な故障から機械またはシステムの障害全体に及びます。

コンポーネントに直接触れることは避けてください。作業中、ワークステーション、および梱包が適切に接地されていることを確認します。

帯電

周囲の電位に導電接続していない作業中は、帯電している可能性があります。

帯電されている人が接触する素材は特に重要です。この図は、湿気および材質に応じて作業中帯電する最大静電電圧を示しています。これらの値は、IEC 61000-4-2 の仕様に基づいています。



- ① 合成素材
- ② ウール
- ③ 木材やコンクリートなどの制電性の素材

通知
<p>接地対策</p> <p>接地しないと、等電位ボンディングはできません。静電気帯電が放電されず、ESD が損傷することがあります。</p> <p>静電気の放電から自身を保護してください。静電気感性装置を使用している場合は、作業者および作業場が適切に接地されていることを確認します。</p>

静電放電に対する保護措置

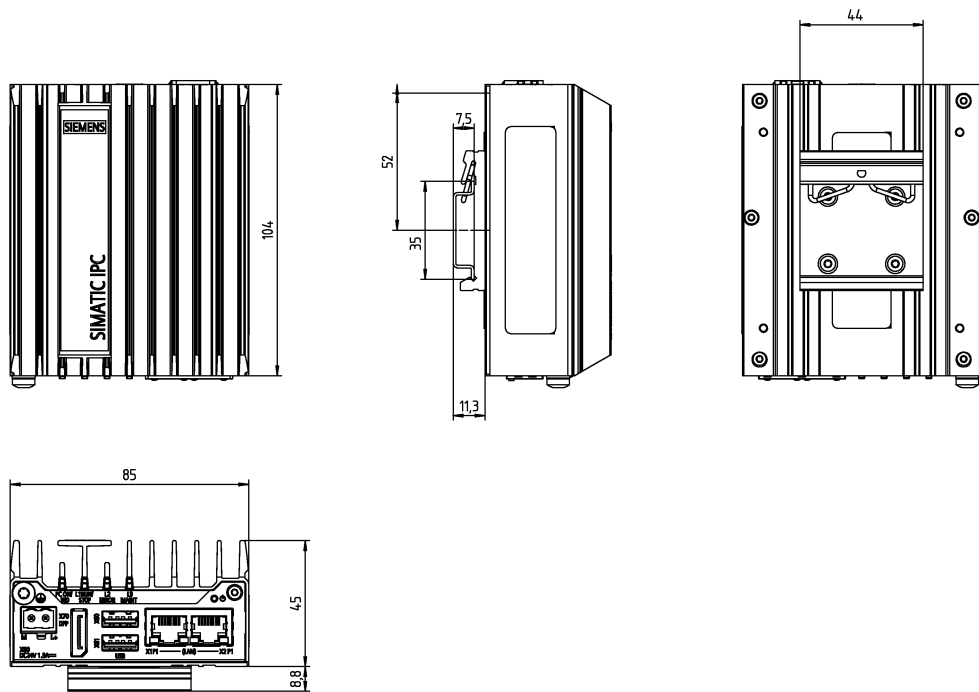
- ESD に敏感なモジュールの取り付けまたは取り外しの前に、電源を切断します。
- 適切な接地をするように注意します。
 静電気感性装置を処理している場合は、作業者、使用されているワークステーションとデバイス、ツール、および梱包が適切に接地されていることを確認します。この方法で、静電気の放電を避けます。
- 直接の接触の回避
 - 一般的に、避けられない保守作業の場合を除き、静電気感性装置には触れないでください。
 - コネクタピンまたはコンダクタパスに触れないように、モジュールはエッジに留めます。これにより、放電エネルギーが静電気に敏感なコンポーネントに達して破損させることを防止できます。
 - モジュールで測定を行う前に接地されている金属部分に接触することにより除電できます。常に接地された測定器を使用します。

6.3 寸法図

注記

装置の固定穴は対称に配置されています。固定部品は、装置の任意の向きで要件に合わせて配置できます。

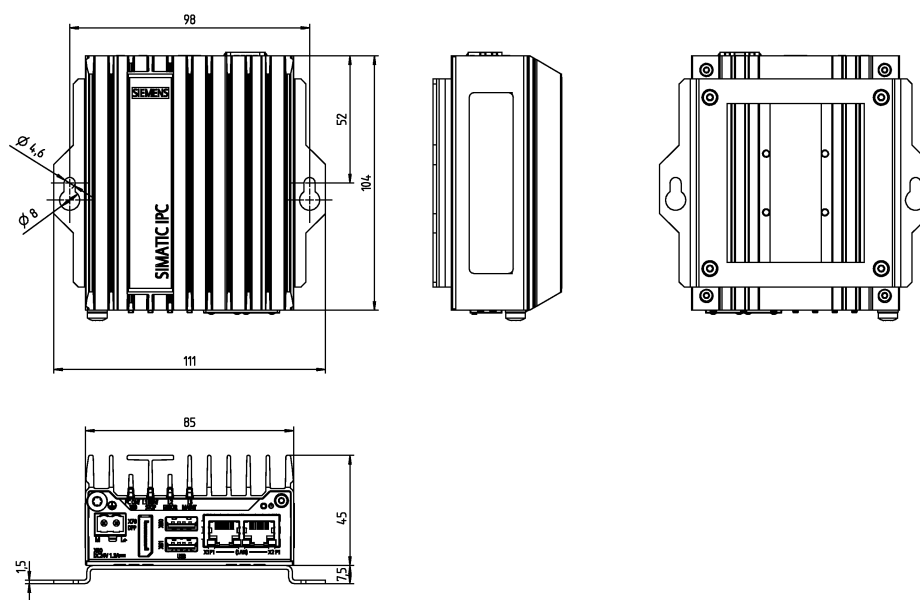
DIN レールへの取り付け



すべての寸法は mm です。

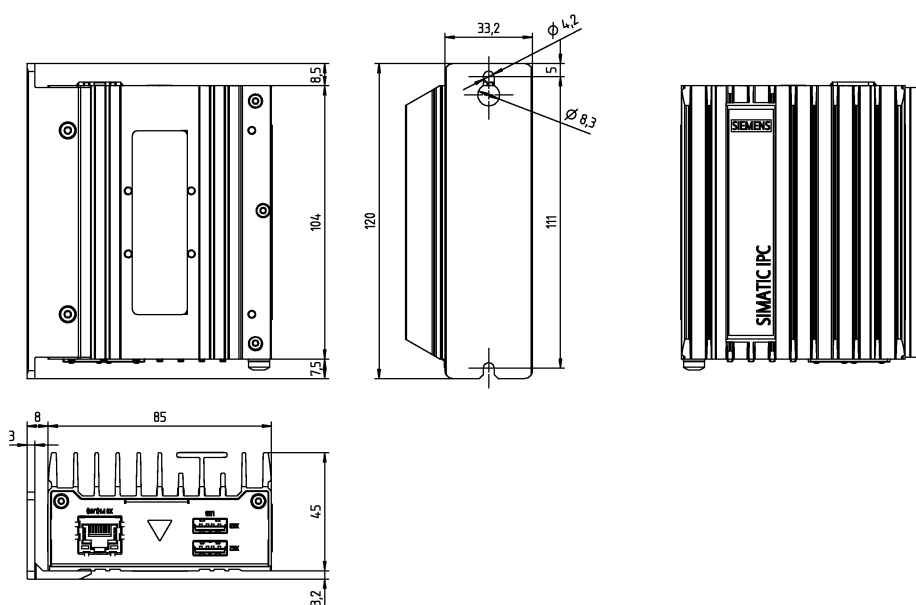
6.3 寸法図

デスク/壁取り付け



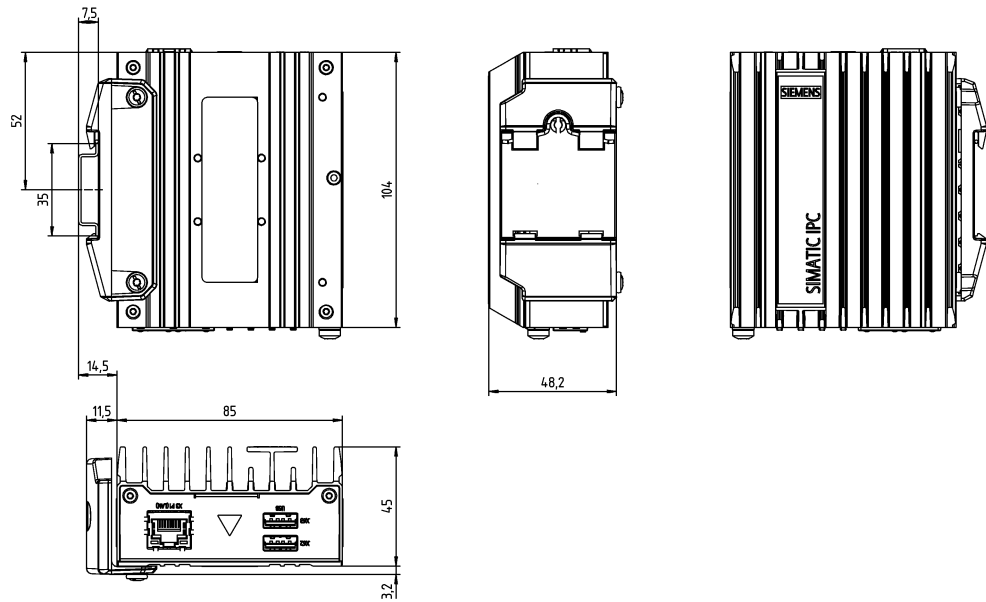
すべての寸法は mm です。

直立取り付け



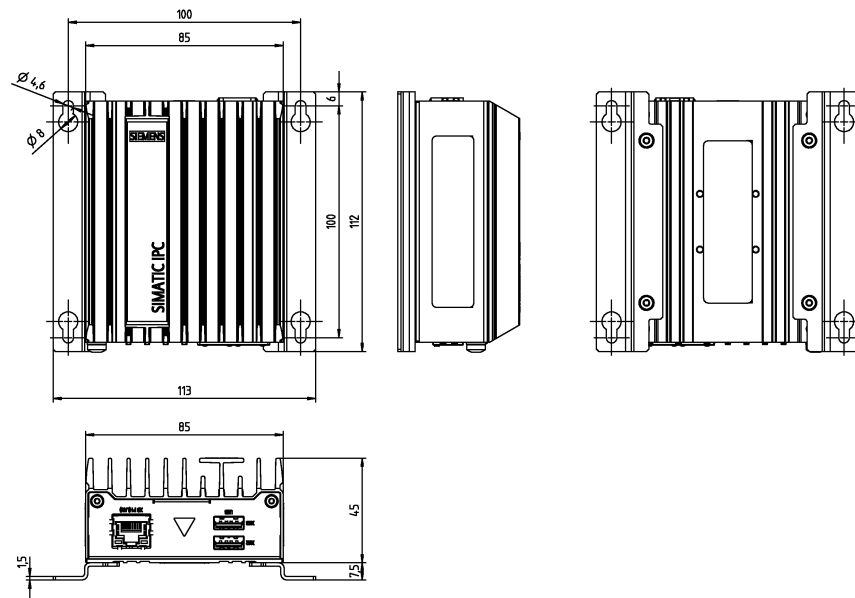
すべての寸法は mm です。

垂直取り付け



すべての寸法は mm です。

VESA 取り付け



すべての寸法は mm です。

6.4 技術データ

6.4.1 一般的な技術仕様

一般的な技術仕様

取り付けブラケットなしでの重量	約 450g
電源 ¹	24 V DC (19.2 ~ 28.8 V)
消費電流	最大 1.3 A
ノイズエミッション	DIN 45635-1 に準拠した < 55 dB(A)
保護等級	IEC 60529 に準拠した IP40
保護クラス	IEC 61140 に準拠した保護クラス I
過電圧のカテゴリ	II
汚染度	2
品質保証	ISO 9001 に準拠

¹ :このデバイスは屋内専用であり、IEC/EN/DIN EN/UL 61010-2-201 に準拠した安全特別低電圧(SELV)または保護特別低電圧(PELV)の要件を満たす 24 V DC 電源にのみ接続できます。

電磁環境適合性(EMC)

放射線放出(筐体ポート) IEC 61000-6-3 + A1/CISPR 32 + A1 に準拠	<ul style="list-style-type: none"> • 30 ~ 230 MHz:40 dB (μV/m)準尖頭値(距離 3 m) • 230 ~ 1000 MHz:47 dB (μV/m)準尖頭値(距離 3 m) 注記:実使用距離で 10 m 相当。 • 1 ~ 3 GHz:70 dB (μV/m)尖頭値。50 dB (μV/m)平均値 (3 m の距離) • 3 ~ 6 GHz:74 dB (μV/m)尖頭値。54 dB (μV/m)平均値 (3 m の距離)
電源ラインでの伝導妨害に関する耐性	<ul style="list-style-type: none"> • IEC 61000-4-4 に準拠した± 2 kV (5 kHz /100 kHz)。バースト。 • IEC 61000-4-5 に準拠した± 1kV ラインツーライン、±2 kV ラインツーアース。サージ。
信号ラインの耐ノイズ性	<p>バースト:</p> <ul style="list-style-type: none"> • IEC 61000-4-4 に準拠した± 1 kV (5 kHz /100 kHz)。信号ポート延長ケーブルの長さ< 30 m。 • IEC 61000-4-4 に準拠した± 2 kV (5 kHz /100 kHz)。信号ポート延長ケーブルの長さ≥ 30 m。 <p>サージ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ± 1 kV ラインツーライン。IEC 61000-4-5 に準拠した± 2 kV ラインツーアース。信号ポート延長ケーブルの長さ≥ 30 m。
静電気放電に対する耐性	<p>± 6 kV 接触放電(IEC 61000-4-2 に準拠) ± 8 kV 空中放電(IEC 61000-4-2 に準拠)</p>
無線外乱に対する耐性	<p>放射イミュニティ(IEC 61000-6-2 に準拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 80 MHz ~ 2.7 GHz 10 V/m、80% AM (1 kHz) • 2.7 GHz ~ 6 GHz 3 V/m、80% AM (1 kHz) <p>伝導イミュニティ(IEC 61000-4-6 に準拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10 kHz ~ 80 MHz:10 V、80% AM (1 kHz)

6.4 技術データ

伝導性放射(低電圧 DC 主電源ポート)、IEC 61000-6-3 + A1 に準拠	<ul style="list-style-type: none"> 0.15 ~ 0.5 MHz / 79 dB (μV) Q、66 dB (μV) M 0.5 ~ 30 MHz / 73 dB (μV) Q、60 dB (μV) M
伝導性放射(通信/ネットワークポート)、IEC 61000-6-3 + A1 に準拠	0.15 ~ 0.5 MHz: 84 dB (μV) ~ 74 dB (μV) Q 74 dB (μV) ~ 64 dB (μV) M
	0.5 MHz ~ 30 MHz: 74 dB (μV) Q / 64 dB (μV) M

主回路基板

プロセッサ	Intel Atom® x6413E プロセッサ:クアッドコア、1.5 GHz、バースト周波数 3.0 GHz
メインメモリ	<ul style="list-style-type: none"> 8GB LPDDR4 SDRAM 16GB LPDDR4 SDRAM メモリの最高速度は 3200 MT/s までです。
M.2 モジュール	スロット X100:NGFF M.2 をサポート Key M 付き 2230

ドライブ、記憶媒体

M.2 NVMe/SATA SSD	<ul style="list-style-type: none"> 128 GB Eco SSD 256 GB Eco SSD 512 GB Eco SSD* 1 TB Eco SSD*
USB スティック	外部、USB ポート経由で接続可能

* 製品は近日発売予定です。

グラフィック

グラフィックコントローラ	Intel® Integrated UHD グラフィックコントローラ
解像度、グラフィックメモリ	1 x DP++, 60 Hz で最高 4096 x 2160 ピクセルの解像度をサポート

インターフェース

Ethernet	3 x ギガビットイーサネットインターフェース(3 つの RJ45)電気分離、 Wake On Lan (WoL)およびリモートブートをサポート: <ul style="list-style-type: none"> • X1P1:Marwell 88E1512 • X2P1:Marwell 88E1512 • X3P1:Marwell 88E1512
USB	インターフェースパネル上: <ul style="list-style-type: none"> • 4 x USB 3.1 Gen2 (900mA) 追加情報については、「コンポーネントの電源要件 (ページ 69)」セクションで参照できます。
DP	DP モニタの接続
キーボード、マウス	USB ポートを介して接続

6.4 技術データ

6.4.2 周辺環境

周囲の気候条件

許容される取り付け位置については、「設置の準備 (ページ 21)」セクションを参照してください。

温度、IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、および IEC 60068-2-14 に準拠してテスト	
動作	<ul style="list-style-type: none"> 標準レールへの取り付け:0°C ~ 50°C デスク取り付け:0°C ~ 40°C 壁取り付け、直立取り付け、垂直取り付け標準レールまたは VESA 取り付け: 0°C ~ 45°C
保管および輸送時の温度	-40°C ~ +70°C
変化率	<ul style="list-style-type: none"> 操作:最大 10°C/時間 保管時:20°C/時間、結露なし
IEC 60068-2-78、IEC 60068-2-30 に従ってテストされた相対湿度	
動作	85 %まで、結露なし 勾配 ≤ 10°C/h
保管/運搬	95 %まで、結露なし 勾配 ≤ 20°C/h
気圧	
動作	1140 ~ 700 hPa (-1000 ~ 3000 m の海拔高度に相当)
保管/運搬	1140 ~ 660 hPa (-1000 ~ 3500 m の海拔高度に相当)

高度 3000 m までの機器動作周囲温度の倍率、IEC 61131-2:2017 に準拠してテスト	
高度	温度のディレーティング率 ¹
0 ~ 2000 m ²	1.0
3000 m	0.9

¹ :2000 m における機器周囲温度定格。

² :気圧と空気密度は高度が下がると増加します。したがって、海拔ゼロより低い高度において 0 m ~ 2000 m に対してディレーティング係数を使用することは、保守的だと考えられています。操作高度は、危険領域での用途に対して最高 2000 m です。

機械的周囲条件

振動耐性	IEC 60068-2-6 に従ってテスト済
動作	壁または垂直取り付けの場合: <ul style="list-style-type: none"> • 5 ~ 9 Hz:3.5 mm • 9 ~ 500 Hz:9.8 m/s² 標準取り付けレールまたは垂直標準取り付けレールの場合: <ul style="list-style-type: none"> • 10 ~ 58 Hz:0.0375 mm • 58 ~ 200 Hz:4.9m/s²
保管/運搬	<ul style="list-style-type: none"> • 5 ~ 9 Hz:3.5 mm • 9 ~ 500 Hz:9.8 m/s²
耐衝撃性	IEC 60068-2-27 に従ってテスト済
動作	150m/s ² 、11 ms
保管/運搬	250 m/s ² 、6 ms

6.4.3 コンポーネントの電源要件

補助コンポーネントの最大消費電力

補助コンポーネント		最大許容消費電力		最大総電力
		+5 V	+3.3 V	
USB 装置 3.1	高電流	900 mA	--	5 W (すべての USB デバイス用)
USB デバイス 2.0	高電流	500 mA	--	

注記

装置は過熱する可能性があります!

電源から電力を無制限に得ることはできません。補助コンポーネントはエネルギーを消費し、熱を発生します。

装置が過熱状態になる恐れがあります。補助コンポーネントが損傷されることがあります。

6.4.4 直流電源(DC)

技術仕様

入力電圧	24 V DC (19.2 ~ 28.8 V DC)
最大入力電流	24 V で 1.3 A
電源故障によるバッファ	ホールドアップ時間 > 5 ms
保護クラス	安全クラス I(保護導体を装置に接続する必要があります)

注記

突入電流

NAMUR NE21、セクション 4.5 に従っている要件は準拠されます。最大の突入電流は 4 A を上回りません。24 V の入力電圧での通常の値は 25 ms に対して 2 A です。2.0 A 未満の制限電流のある 24 V の電源は使用が許可されません。装置のブート中に 18.0 V 未満の電圧低下は許可されません。

標準消費電力

	消費電力 (24 V 定格電圧時)
Intel Atom® x6413E のある装置	21 W
USB 増設	「コンポーネントの電源要件 (ページ 69)」セクションを参照

6.5 ハードウェアの説明

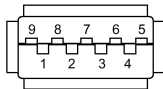
6.5.1 マザーボードの技術的特徴

コンポーネント/ポート	説明	パラメータ
BIOS	コア、ビデオ、ACPI	
CPU	Intel プロセッサ	Intel Atom® x6413E プロセッサ:クアッドコア、1.5 GHz、バースト周波数 3.0 GHz
メモリ	DDR4 SDRAM	<ul style="list-style-type: none"> 8GB LPDDR4 SDRAM 16GB LPDDR4 SDRAM
グラフィック	統合グラフィック	Intel® UHD グラフィック

6.5.2 外部インターフェース

インターフェース	位置	説明
USB	外部	<ul style="list-style-type: none"> 4 × USB 3.1 Gen2(最大 10Gb/秒)
Ethernet ポート	外部	<ul style="list-style-type: none"> 3 × RJ45 Ethernet 10/100/1000 Mbps
DisplayPort	外部	<ul style="list-style-type: none"> 1 × DP++

6.5.2.1 USB 3.1 ポート

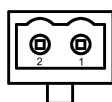


ピン	省略名	意味	入力/出力
1	VBUS	+ 5 V(電源スイッチ)	電源出力
2	D-	データチャンネル USB2	入力/出力
3	D+	データチャンネル USB2	入力/出力

6.5 ハードウェアの説明

4	GND	アース	-
5	RX-	データチャンネル USB3	入力
6	RX+	データチャンネル USB3	入力
7	GND	アース	-
8	TX-	データチャンネル USB3	出力
9	TX+	データチャンネル USB3	出力

6.5.2.2 コネクタの DC



ピン	簡略表記
1	+24V
2	GND

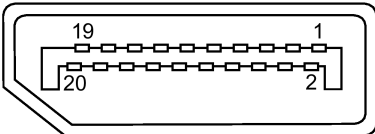
6.5.2.3 Ethernet ポート

Ethernet RJ45 インターフェース			
ピン番号	簡略表記	意味	入力/出力
1	BI_DA+	双方向データ A+	入力/出力
2	BI_DA-	双方向データ A-	入力/出力
3	BI_DB+	双方向データ B+	入力/出力
4	BI_DC+	双方向データ C+	入力/出力
5	BI_DC-	双方向データ C-	入力/出力
6	BI_DB-	双方向データ B-	入力/出力

Ethernet RJ45 インターフェース			
7	BI_DD+	双方向データ D+	入力/出力
8	BI_DD-	双方向データ D-	入力/出力
5		シールド	-
	LED 1	オレンジ色のライト: 1000 Mbps 消灯:その他	-
	LED 2	オレンジ色のライト:リンク オレンジ色の点滅:動作中 消灯:リンクなし	-

Ethernet インターフェースが全伝送速度に対して MDXI(自動クロスオーバー)をサポートします。

6.5.2.4 DisplayPort

DisplayPort インターフェース			
			
ピン番号	略号	意味	入力/出力
1	ML_Lane 0+	DP データ 0+	出力
2	GND	アース	-
3	ML_Lane 0-	DP データ 0-	出力
4	ML_Lane 1+	DP データ 1+	出力
5	GND	アース	-
6	ML_Lane 1-	DP データ 1-	出力
7	ML_Lane 2+	DP データ 2+	出力
8	GND	アース	-
9	ML_Lane 2-	DP データ 2-	出力
10	ML_Lane 3+	DP データ 3+	出力
11	GND	アース	-
12	ML_Lane 3-	DP データ 3-	出力

6.5 ハードウェアの説明

DisplayPort インターフェース			
13	CONFIG1	CONFIG1	-
14	CONFIG2	CONFIG2	-
15	AUX_CH+	補助チャンネル+	双方向
16	GND	アース	-
17	AUX_CH-	補助チャンネル-	双方向
18	HPD	ホットプラグ検出	入力
19	GND	アース	-
20	DP_PWR	+3.3 V(電源スイッチ)	電源出力

6.5.3 内部インターフェース

インターフェース	位置	説明
M.2	内部	<ul style="list-style-type: none"> PCIe x 2 レーン

6.5.3.1 M.2 インターフェース

M.2 モジュール(X100)

ピン番号	信号	信号	ピン番号
		GND	75
74	3.3V	GND	73
72	3.3V	GND	71
70	3.3V	PEDET	69
68	SUSCLK	NC	67
58	NC	GND	57
56	NC	REFCLKp	55
54	PEWAKE#	REFCLKn	53
52	CLKREQ#	GND	51
50	PERST#	PETp0	49

48	NC	PETn0	47
46	NC	GND	45
44	NC	PERp0	43
42	SMB_DATA	PERn0	41
40	SMB_CLK	GND	39
38	DEVSLP	PETp1	37
36	NC	PETn1	35
34	NC	GND	33
32	NC	PERp1	31
30	NC	PERn1	29
28	NC	GND	27
26	NC	NC	25
24	NC	NC	23
22	NC	GND	21
20	NC	NC	19
18	3.3V	NC	17
16	3.3V	GND	15
14	3.3V	NC	13
12	3.3V	NC	11
10	NC	GND	9
8	PLN#	NC	7
6	NC	NC	5
4	3.3V	GND	3
2	3.3V	GND	1

6.5.4 システムリソース

現在割り付けられているシステムリソース

すべてのシステムリソース(ハードウェアアドレス、メモリ使用率、割り込みの割り付け、DMA チャンネル)は、ハードウェア機器、ドライバおよび接続されている外部デバイスに応じて、Windows オペレーティングシステムにより、動的に割り付けられています。システムリソースの現在の割り付けまたは潜在的な競合についてはコントロールパネルで確認できます。

手順

システムリソースを表示するには、以下のように実行します。

1. Windows のスタートメニューを右クリックして[デバイスマネージャ]を選択します。
2. [表示]メニューをクリックして、[タイプ別リソース]または[接続別リソース]をオンにします。

すべての割り込みが、割り込み要求(IRQ)カタログに表示されます。

6.5.5 入力/出力アドレス領域

次のアドレスが内部レジスタに使用されます。

アドレス		入力/出力ユニット
(IO スペース)アドレス	0x1854	ウォッチドッグレジスタ (ページ 77)
LED1	0xFD6A0B80	コントロールレジスタユーザーLED L1/L2/L3 (ページ 80)
	0xFD6A0BD0	
LED2	0xFD6A0AA0	
	0xFD6A0BE0	
LED3	0xFD6A0AC0	
	0xFD6A0AE0	
バッテリーのステータスを確認	0xFD6D0B20	バッテリーステータスレジスタ (ページ 82)
バッテリーのステータス	0xFD6A0820	
	0xFD6A0830	

アドレス		入力/出力ユニット
ボタンのステータス	0xFD6D0990	AUTOHOTSPOT

6.5.5.1 ウォッチドッグレジスタ

ビット名	ビット	読み取り/書き込みの状態	ビットの意味
WDT 再ロード (OC_WDT_RLD)	31	書き込み専用	<ul style="list-style-type: none"> 0 (デフォルト):効果なし 1:PCH オーバークロックウォッチドッグタイマーの実行中に再ロード(ping)します。OC_WDT_EN=0 のときにこのビットに「1」を書き込むか、OC_WDT_EN をクリアしても、WDT は開始または再ロードされません(つまり、OC_WDT_EN が優先されます)。 <p>OC_WDT_TOV の値は、このビットの設定とともにソフトウェアによって変更できます。WDT の再ロード時に、OC_WDT_TOV の現在の(新しい可能性がある)値が新しいタイムアウト値として WDT にロードされます。</p>
WDT ICC サバイバ ビリティモードの タイムアウトステ ータス (OC_WDT_ICCSURV _STS)	25	読み取り/書き込み	<ul style="list-style-type: none"> 0 (デフォルト):効果なし 1:ICC サバイバビリティインパクトのあるモードで実行中に、オーバークロック WDT がタイムアウトし、グローバルリセットが作動した場合(OC_WDT_ICCSURV=1)。ソフトウェアによる「1」の書き込みまたは RSMRST#ピンによりクリアされます。
WDT すべてを強制 (OC_WDT_FORCE_A LL)	15	読み取り/書き込み	<ul style="list-style-type: none"> 0 (デフォルト):効果なし 1:OC_WDT が実行されている場合、含まれているグローバルリセットソースは、OC_WDT の有効期限が切れたかのように動作します。

ビット名	ビット	読み取り/書き込みの状態	ビットの意味
WDT 有効化 (OC_WDT_EN)	14	読み取り/書き込み	<ul style="list-style-type: none">0 (デフォルト):効果なし1:PCH オーバークロックウォッチドッグタイマーを有効にします。カウンタの実行中に、OC_WDT_RLD ビットを介してソフトウェアによって再ロードされる前に、またはこのビットをクリアするソフトウェアによって停止される前にカウンタが期限切れになった場合、ステータスビットの1つが設定され(どのビットが設定されるかは、その時点の WDT 動作モードによって異なります。OC_WDT_ICCSURV ビットの説明を参照してください)、グローバルリセットが作動されます。 <p>このビットは、電源サイクルリブート時に OC_WDT が自己起動できる条件がそろっている場合にもハードウェアによって設定されず(ソフトウェアで確認されるように、このビットのデフォルトが事実上変更されます)。</p>

ビット名	ビット	読み取り/書き込みの状態	ビットの意味
WDT ICC サバイバ ビリティインパク ト (OC_WDT_ICCSURV)	13	読み取り /書き込 み	<p>このビットは、OC_WDT の有効期限が ICC (Integrated Clock Controller)ブートストラップのサバイバビリティに影響を与えるかどうかを決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0:タイムアウト発生時に ICC ハードウェア自動回復アクションが必要ない場合は、ソフトウェアで OC_WDT をこのモードに設定する必要があります。このモードでタイムアウトすると、OC_WDT_NO_ICCSURV_STS が設定されます。 1 (デフォルト):このモードで動作中に OC_WDT タイムアウトが発生すると、特定の ICC ハードウェア自動回復アクションが実行されます。このモードでタイムアウトすると、OC_WDT_ICCSURV_STS が設定されます。
WDT タイムアウト 値 (OC_WDT_TOV)	[9: 0]	読み取り /書き込 み	<p>必要なオーバークロック WDT タイムアウト値は、このレジスタにプログラムされます。このタイマーはゼロベースで、粒度は 1 秒です。</p> <p>タイムアウト値の例: 000h:1 秒 001h:2 秒 ... 3FFh: ~17 分(1024 秒)</p> <p>OC_WDT_TOV の値は、OC_WDT_RLD ビットの設定とともにソフトウェアによって変更できます。WDT の再ロード時に、OC_WDT_TOV の現在の(新しい可能性がある)値が新しいタイムアウト値として WDT にロードされます。</p> <p>このフィールドは、電源サイクルリブート時に OC_WDT が自己起動できる条件がそろっている場合にもハードウェアによって更新されます(ソフトウェアで認識されるように、このフィールドのデフォルトが事実上変更されます)。</p>

6.5 ハードウェアの説明

6.5.5.2 コントロールレジスタユーザーLED L1/L2/L3

ビットの意味

「PC ON/WD」LED が黄色に点滅して、装置の起動中に BIOS セルフテストの進捗状況を示します。BIOS セルフテストが完了すると、「PC ON/WD」LED が連続的に緑に点灯します。

- LED1 のコントロール:LED の状態をコントロールするために2つのレジスタ Bit0 を設定します

LED1 のステータス	アドレス:0xFD6A0B80 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)					アドレス:0xFD6A0BD0 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)				
	ビット					ビット				
	31	30	29~2	1	0	31	30	29~2	1	0
LED1 が暗い (消灯)					0					0
LED1 が赤色に点灯					1					0
LED1 が緑色に点灯					0					1
LED1 がオレンジ色に点灯					1					1

- LED2 のコントロール:LED の状態をコントロールするために2つのレジスタ Bit0 を設定します

LED2 のステータス	アドレス:0xFD6A0AA0 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)					アドレス:0xFD6A0BE0 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)				
	ビット					ビット				
	31	30	29~2	1	0	31	30	29~2	1	0
LED2 が暗い (消灯)					0					0
LED2 が赤色に点灯					0					1

LED2 のステータス	アドレス:0xFD6A0AA0 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)					アドレス:0xFD6A0BE0 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)				
LED2 が緑色に点灯					1					0
LED2 がオレンジ色に点灯					1					1

- LED3 のコントロール:LED の状態をコントロールするために 2 つのレジスタ Bit0 を設定します

LED3 ステータス	アドレス:0xFD6A0AC0 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)					アドレス:0xFD6A0AE0 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)				
	ビット					ビット				
	31	30	29~2	1	0	31	30	29~2	1	0
LED3 が暗い (消灯)					0					0
LED3 が赤色に点灯					1					0
LED3 が緑色に点灯					0					1
LED3 がオレンジ色に点灯					1					1

6.5 ハードウェアの説明

6.5.5.3 バッテリステータスレジスタ

CMOS バッテリのステータスをモニタリング。ステータス(2 階層)をバッテリステータスレジスタから読み込むことが可能。

ビットの意味

バッテリステータスを読み取る場合は、まずイネーブルレジスタ(0xFD6D0B20)の BIT0 を[1]に設定します。この操作には 150ms 以上の時間がかかります。

バッテリのステータス を確認	アドレス:0xFD6D0B20 (読み取り/書き込み、アクセス:MMIO)				
	ビット				
	31	30	29~2	1	0
有効					1
無効					0

2つのレジスタを読み取ると、次の表からバッテリのステータスを取得できます。バッテリステータスを読み取った後、レジスタ(0xFD6D0B20)の BIT0 を[0]に設定します。

バッテリのステータス	アドレス:0xFD6A0820 (読み取り専用、アクセス:MMIO)					アドレス:0xFD6A0830 (読み取り専用、アクセス:MMIO)				
	ビット					ビット				
	31	30	29~2	1	0	31	30	29~2	1	0
CMOS バッテリ容量がまだ充分です。				0					0	
CMOS バッテリの容量がなくなりました(残量は約 1 ヶ月分です)。				0					1	
CMOS バッテリが空です。				1					1	

6.6 BIOS の説明

6.6.1 概要

BIOS Setup で装置をパラメータ化します。

BIOS Setup プログラム

BIOS Setup プログラムまたは BIOS Setup と略称されるものは、設定パラメータと共にマザーボードの FLASH ブロックに配置されています。

BIOS Setup で、システム時間やブートシーケンスなど装置の設定パラメータを変更します。

装置設定の変更

装置設定は同梱されているソフトウェアで操作されるようにプリセットされています。装置に対する技術変更により異なるパラメータが必要な場合のみ、デフォルトの設定パラメータを変更するようにします。

通知

ソフトウェア CPU を実行する際に故障が発生することもあります

PC の BIOS 更新が SIMATIC ソフトウェアコントローラの実行中に行われる場合、ソフトウェアの CPU が故障を起こし、通信の中断やエラーなどが生じることがあります。たとえば基準などのハードウェアテストを実施するといった PC のハードウェアに高い負荷をかける他のアクションは、ソフトウェア CPU の故障を起こすことがあります。ソフトウェア CPU の操作中にハードウェアに重い負荷をかけるような BIOS 更新や他のアクションを実行しないでください。

BIOS 更新を実行するか、他の重要なアクションを実行する前に、ソフトウェア CPU を [停止] に切り替えます。

注記**マニュアル**

BIOS Setup がすべての装置と装置設定に対して説明されています。注文によっては、一部の BIOS のサブメニューまたは Setup パラメータは含まれていない可能性があります。BIOS Setup のインターフェースはこのマニュアルの図と異なることがあります。

ファームウェア/BIOS の説明 SIMATIC IPC BX-21A 操作説明書

(<https://support.industry.siemens.com/cs/jp/ja/view/109797240>)で詳細な説明を参照できます。

6.6.2 BIOS 更新

更新が装置にダウンロード可能になっていないか定期的に確認します。

詳細については、下記のアドレスのインターネットサイトを参照してください:
SIMATIC PC/PG のアフターサービス情報システム (<http://www.siemens.com/asis>)

BIOS Setup の設定をメモして、復元

通知**回復できないデータ損失**

BIOS 更新後にすべての BIOS Setup 設定が削除されることがあります。これによりシステムが未定義の状態になることがあります。これにより装置とプラントが損傷を受けることがあります。

1. 次のセクション「BIOS Setup 設定全般」にある表を印刷します。
2. BIOS 更新を実行する前にこの表に特定の BIOS Setup 設定を入力します。
3. BIOS 更新後に BIOS Setup 設定を開始します。
4. BIOS Setup のデフォルト設定を<F9>「Setup Defaults」で読み込みます。または、[終了]メニューの BIOS Setup コマンド「Load Optimal Defaults」を使用します。
5. 印刷した表に基づいて独自の Setup 設定を行います。
6. BIOS Setup のデフォルト設定を<F10>「Save and Exit」で保存します。

BIOS 更新の実行

通知
装置の損傷 更新中に装置をオフにすると、BIOS が不完全で破損されたものになります。これにより故障が生じます。 更新中に装置をオンのままにします。

新しい BIOS 更新を装置に対して購入した場合、次の手順に従って更新をインストールします。

1. 電源に装置を接続します。
2. Siemens Industry Online Support
(<https://support.industry.siemens.com/cs/jp/ja/view/75842768/en>)ページからダウンロードした BIOS 更新を選択して、USB スティックに配置します。
3. FAT/FAT32 ファイル形式の USB スティックを装置に差し込みます。
4. BIOS 更新フォルダで「BIOS2USB.exe」をダブルクリックし、転送が完了するのを待機します。
5. 装置をリセットします(ウォームリスタートまたはコールドリスタート)。
6. <ESC>を押して、BIOS 選択メニューを開きます。
7. [BIOS Update]ボタンをクリックします。
8. 画面の指示に従います。

リポート

BIOS 更新後に複数回リポートされる場合があります。これらのリポートは管理エンジン(ME)により開始されます。リポートは ME により求められ、BIOS 更新の変更へそれ自体が適合されます。

6.6.3 アラーム、エラー、システムメッセージ

起動中(ブートプロセス中)、BIOS はまず Power On Self Test (POST)を実行し、PC の特定の機能単位がエラーなしで操作されているかを確認します。重大なエラーが発生すると、ブートシーケンスがすぐに中断されます。

POST がエラーを返さない場合、BIOS は追加の機能単位を初期化し、テストします。この起動フェーズで、グラフィックコントローラが初期化され、エラーメッセージが画面に出力されます。

システム BIOS によるエラーメッセージ出力は以下にリストされています。オペレーティングシステムまたはアプリケーションプログラムによるエラーメッセージ出力の詳細については、対応の操作説明書を参照してください。

On-screen error messages

画面上のエラーメッセージ	意味/ヒント
オペレーティングシステムが見つかりません	考えられる原因: <ul style="list-style-type: none"> • オペレーティングシステムがインストールされていません • アクティブブートパーティションが不適切です • SETUP のブートドライブ設定が間違っています
キーボードコントローラエラー	コントローラエラー。 テクニカルサポートチームに連絡してください。
SMART エラーが SSD で見つかりました	SSD が S.M.A.R.T.を通じて保留中のエラーを報告します
CMOS バッテリーでエラーが起きました	CMOS バッテリーが接続されていません。
CMOS バッテリーが充電不足です	CMOS バッテリーが充電不足です。
リアルタイムのクロックに電力がありません	バッテリーの交換時などに、CMOS クロックがバッテリーなしで操作されるか、充電不足のバッテリーで操作されました。CMOS クロックを確認します。
キーボードエラー	<ul style="list-style-type: none"> • Field PG:内部キーボードに欠陥があり、外部キーボードが接続されていません • 他の装置:キーボードに欠陥があるか、接続されていません。

テクニカルサポート

A.1 サービスおよびサポート

製品に関する追加情報やサポートはインターネットの次のアドレスにあります:

- テクニカルサポート
(<https://support.industry.siemens.com/cs/start?lc=ja-JP>)
- サポートリクエストフォーム
(<https://support.industry.siemens.com/cs/my/src>)
- アフターサービス情報システム SIMATIC IPC/PG
(<http://www.siemens.com/asis>)
- SIMATIC マニュアルセット
(<https://support.industry.siemens.com/cs/us/en/view/109744171>)
- 最寄りの担当代理店
(http://w3.siemens.com/aspa_app/)
- トレーニングセンター
(<https://www.sitrain-learning.siemens.com/PLG/?AppLang=en>)
- Industry Mall
(<https://mall.industry.siemens.com>)

最寄りの担当代理店またはテクニカルサポートにお問い合わせの際は、以下の技術情報をご用意ください:

- デバイスの MLFB
- 産業用 PC の BIOS のバージョンまたは装置のイメージバージョン
- 他の取り付けられているハードウェア
- 他のインストールされているソフトウェア

ツールとダウンロード

装置にダウンロードして使用可能な更新やホットフィックスがないか、定期的にチェックしてください。ダウンロード領域は、次のリンクでインターネットから利用できます。

アフターサービス情報システム SIMATIC IPC/PG (<http://www.siemens.com/asis>)

A.2 トラブルシューティング

この章は問題を見つけてトラブルシューティングするヒントを提供します。

問題	考えられる原因	対策
装置が動作していない	電源なし	<ul style="list-style-type: none"> 電源、電源コード、電源プラグをチェックします。 ON/OFF スイッチが正しい位置にあるかを確認します。
	装置が指定された周囲環境外で動作しています。	<ul style="list-style-type: none"> 周囲環境を確認します。 寒い気候の運搬後は、装置のスイッチを入れる前に約 12 時間待機させます。
モニタが暗いままである	モニタのスイッチがオフになっています。	モニタのスイッチを入れます。
	モニタが"パワーセーブ"モードになっています。	キーボードのいずれかのキーを押します。
	輝度ボタンが暗く設定されています。	輝度ボタンを使用して輝度を上げます。詳細については、モニタの操作説明書を参照してください。
	電源コードあるいはモニタケーブルが接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードがモニタおよびシステムユニットあるいは耐震性のある接地コンセントに正しく接続されているかを確認します。 モニタケーブルがシステムユニットおよびモニタに正しく接続されているかを確認します。
		以上のチェックと対策を実行した後でもまだモニタ画面が暗い場合は、テクニカルサポートチームに連絡します。

問題	考えられる原因	対策
マウスポインタが画面に表示されない	マウスドライバがロードされていません。	マウスドライバが正しくインストールされ、ユーザープログラムを開始したときに使用できるかどうかを確認します。マウスドライバについての詳細は各説明書を参照してください。
	マウスが接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> マウスコードがシステムユニットに正しく接続されているかを確認します。 マウスケーブルにアダプタまたは延長ケーブルを使用している場合は、これらのコネクタも確認します。
		以上のチェックと対策を実行してもまだマウスポインタが画面に表示されない場合は、テクニカルサポートチームに連絡します。
PC の時刻および/または日付が間違っている		<ol style="list-style-type: none"> BIOS Setup を開きます。 時刻と日付を設定します。
BIOS 設定は正しいが、時刻と日付がまだ間違っている	バックアップバッテリーが切れています。	バックアップバッテリーを交換します。
USB 装置が反応していません	USB ポートが正しくサポートされていません。	必要なオペレーティングシステムに対して USB 装置のドライバをインストールする必要があります。
1000M 全二重モードは、すべてのオンボード LAN ポートにおいてフル速度では実行できません。	Time Coordinated Computing は、ギガバンド Ethernet の負荷となることがあります。	ファームウェア選択メニューを開いて、[セットアップユーティリティ]>[電源]>[高度な CPU 制御]> [C 状態]を選択して、値を[有効]から[無効]に変更します。
ブリッジ機能が有効な際に Ethernet ポートブリッジの接続エラーが発生します。		Windows のスタートメニューを右クリックして[デバイスマネージャ]>[ネットワークアダプタ]>[Intel EC* *GbE 接続]>[プロパティ]>[高度]>[プロミスキャスモード]を選択して、値を[有効]に変更します。

A.3 サードパーティモジュールの使用に関する注意

問題	考えられる原因	対策
起動時の装置クラッシュ	<ul style="list-style-type: none"> • 二重化 I/O アドレス • 二重化ハードウェア割り込みおよび/または DMA チャンネル • 信号周波数または信号レベルの変動 • 異なるピン割り付け 	<p>コンピュータの設定を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの設定が出荷時の状態に対応する場合は、テクニカルサポートチームに連絡してください。 • 設定が変更されている場合、工場出荷時状態に復元してください。これを実行するには、サードパーティ製モジュールを取り外し装置を再起動します。エラーが発生しなくなった場合は、サードパーティ製モジュールが異常の原因でした。サードパーティのモジュールを Siemens のモジュールで交換するか、モジュールサプライヤーに連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none"> • UPS などの外部電源の出力が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> • より容量の大きな電源を使用してください。
装置がただちに起動またはスイッチオフしない。	<ul style="list-style-type: none"> • カウンタ電圧は、接続またはインストールされたサードパーティ製コンポーネントにより装置に供給されています。 	<p>コンポーネントのサプライヤーに以下を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンポーネントは外部電源なしで動作できる。 • コンポーネントは、外部電源または装置の電源のみを使用するよう再設定することができる。









マーキングと記号

B.1 概要




次の表に、取扱説明書で説明されているシンボルに加えて、お使いの SIMATIC 産業用 PC、SIMATIC 産業用モニタまたは SIMATIC Field PG で目にする可能性のあるすべてのシンボルを示します。

お使いの装置のシンボルは、次の表で示されているシンボルと一部の詳細が異なることがあります。

B.2 安全性

シンボル	意味		シンボル	意味
	警告。提供された取扱説明書に順守。			ロックが閉じられています
	注意。無線機器			ロックが開かれています
	開ける前に電源プラグを外してください			Kensington ロックの開口部
	ESD (静電気に敏感な装置)の注意			過熱した表面の警告











B.3 オペレータ制御

シンボル	意味		シンボル	意味
	オン/オフスイッチ。電氣的絶縁なし			CD/DVD 取り出し
	オン/オフスイッチ。電氣的絶縁なし			

B.4 認証、認可およびマーク

B.4 認証、認可およびマーク

次の表に、装置に記載されている可能性のある認証、認可およびマークに関連するシンボルを示します。詳細な情報は、お使いの装置の取扱説明書で参照できます。

シンボル	意味	シンボル	意味
	オーストラリアとニュージーランドの承認		ユーラシア関税同盟のマーク
	中国の承認		Factory Mutual Research のテストマーク
	欧州諸国の CE マーキング		米国の連邦通信委員会のマーキング
	中国の EFUP (Environment Friendly Use Period) マーキング		韓国の承認
	UL (Underwriters Laboratories) のテストマーク		廃棄情報、地域の法規を順守。

B.5 インターフェース

シンボル	意味	シンボル	意味
	電源への接続		PS/2 マウスインターフェース
	保護コンダクタ端子		PS/2 キーボードインターフェース
	機能アースへの接続(等電位ボンディング線)		マルチメディアカードリーダー
DPP	DisplayPort インターフェース		スマートカードリーダー
	DVI-D インターフェース		入力端子
LAN	WAN や電話の接続には許容されない LAN インターフェース		出力端子
	シリアルポート		マイク入力
	USB ポート		ユニバーサルオーディオジャック
	USB 2.0 高速ポート		ヘッドフォン出力
	USB 3.0 超高速ポート		

略号リスト

AC	Alternating current	交流
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface	
AHCI	Advanced Host Controller Interface	SATA デバイス用の標準化されたコントローラインターフェース。SP1 以降および IAA ドライバの Microsoft Windows XP でサポートされています。
APIC	Advanced Programmable Interrupt Controller	
AT	Advanced Technology	
ATA	Advanced Technology Attachment	
AWG	American Wire Gauge	標準化されたワイヤゲージシステムの 1 つ。北米およびカナダで使用されます。
BIOS	Basic Input Output System	
CAN	Controller Area Network	
CD-ROM	Compact Disc – Read Only Memory	
CE	Communauté Européenne	
CF	コンパクトフラッシュ (CompactFlash)	
CMOS	Complementary Metal Oxide Semiconductors	
COA	Certificate of Authentication	
COM	Communications Port	シリアルインターフェースの用語
CPU	Central Processing Unit	CPU
CSA	Canadian Standards Association	国家または複数国家の標準に従ったテストと証明書のためのカナダの組織
CTS	Clear To Send	送信可

DC	Direct Current	直流電流
DCD	Data Carrier Detect	データキャリア信号の検出
DMA	Direct Memory Access	
DOS	Disk Operating System	
DP	DisplayPort	
DQS	Deutsche Gesellschaft zur Zertifizierung von Qualitätsmanagement mBH	
DSR	Data Set Ready	動作準備完了
DTR	Data Terminal Ready	データターミナル準備完了
DVD	Digital Versatile Disk	
ESD	Components sensitive to electrostatic charge	
EN	European standard	
EEPROM	Electrically Erasable Programmable Read-Only Memory	
ESD	Electrostatic Sensitive Device Electrostatic discharge	静電気敏感性装置 静電気放電
EFW	Enhanced Write Filter	
FBWF	File Based Write Filter	
GND	Ground	筐体接地
HD	Hard disk	ハードディスク
HMI	Human Machine Interface	ユーザーインターフェース
HORM	Hibernate-Once-Resume-Many	
HT	Hyper Threading	
I/O	Input/Output	コンピュータでのデータの入出力
IB ECC	インバンドエラー訂正コード	IB ECC は、物理メモリ空間のすべてまたは特定の領域に対してエラーを確認し、正しい保護を行うことにより精度と信頼性を向上します。
IDE	Integrated Device Electronics	

IEC	International Electronical Commission	
IGD	Integrated Graphics Device	
IP	International Protection 英語圏の国では:Ingress Protection	保護等級
IRQ	Interrupt Request	
ISA	Industry Standard Architecture	拡張モジュール用バス
LAN	Local Area Network	ローカルエリアに制限されたコンピュータネットワーク
LED	Light Emitting Diode	発光ダイオード
LPS	Limited Power Source	
MAC	Media Access Control	メディアアクセス制御
MLFB	Machine-readable product designation	
MRAM	Magnetoresistive random-access memory	バックアップメモリ
MS	Microsoft	
MTBF	Mean Time Between Failures	
MUI	Multilanguage User Interface	Windows の言語のローカリゼーション
NEMA	National Electrical Manufacturers Association	
NTFS	New Technology File System	
NVMe	Non-Volatile Memory Express	
NVRAM	Non Volatile Random Access Memory	不揮発性データメモリ。データメモリは外部電源がなくても保持されます。
ODD	Optical Disk Drive	
PC	Personal computer	
PCI	Peripheral Component Interconnect	高速拡張バス
PCIe	Peripheral Component Interconnect express	データ転送速度が速い、高速シリアル差動全二重 PTP インターフェース。
PG	Programming device	

POST	Power On Self Test	
PXE	Preboot Execution Environment	ネットワークを介したハードディスクなしで新しい PC を実行するためのソフトウェア
RAID	Redundant Array of Independent Disks	二重化ハードディスク配列
RAL	Restricted Access Location	
RAM	Random Access Memory	
RI	Ring Input	着信呼
ROM	Read-Only Memory	
RS 485	Reconciliation Sublayer 485	双方向バスシステム
RTC	Real Time Clock	リアルタイムクロック
RTS	Request to send	送信要求
RxD	Receive Data	データ転送信号
SATA	Serial Advanced Technology Attachment	
SCU	Setup Configuration Utility	
SELV	Safety Extra Low Voltage	安全特別低電圧
SMART	Self Monitoring Analysis and Reporting Technology	ハードディスクエラー診断プログラム
SRAM	Static Random Access Memory	スタティック RAM
SSD	Solid State Drive	
TFT	Thin-Film-Transistor	
TxD	Transmit Data	データ転送信号
UEFI	Unified Extensible Firmware Interface	
UL	Underwriters Laboratories Inc.	国家または複数国家の標準に従ったテストと証明書のための米国の組織
USB	Universal Serial Bus	
VDE	Verband der Elektrotechnik, Elektronik und Informationstechnik e.V (電気、電子および情報テクノロジーの協会)	

VT	Virtualization Technology	仮想の閉環境を提供する Intel テクノロジ
VT-d	Virtualization Technology for Directed I/O	デバイス(例、ネットワークアダプタ)の仮想デバイスへの直接の割り付けを可能にする。
WD	Watchdog	エラー検出とアラーム付きのプログラムモニタリング

用語解説

索引

B

BSMI, 56

C

Components sensitive to electrostatic charge, 58

D

DC 電源, 70

DIN レールへの取り付け, 61

DisplayPort インターフェース, 73

E

EAC, 55

ESD, 58

ESD 指令, 58

Ethernet, 37, 71

Ethernet アドレス, 23

Ethernet インターフェース, 72

F

FCC, 54

I

Industrial Ethernet, 37

IT 通信, 37

M

M.2 NVMe/SATA SSD, 66

M.2 モジュール, 66

O

On-screen error messages, 86

P

Pile au lithium, 44

PROFINET, 70

R

RAM, 66

RCM, 55

RCM オーストラリア/ニュージーランド, 55

S

SIMATIC NET, 38

SIMATIC S7, 37

構成, 37

T

TPM, 10

U

UKCAI, 57

USB, 71

USB 3.0

インターフェース, 72

V

VESA 取り付け, 32

い

- インターフェース, 67
 - DisplayPort, 73
 - RJ45 Ethernet, 72
 - USB 3.0, 72

お

- オペレーティングシステム
 - 初期コミッショニング, 39, 40

か

- カナダ, 54

く

- グラフィック, 67

し

- システムリソース, 76
 - 現在割り付けられているシステムリソース, 76
- シリアル番号, 23

て

- データ交換, 37
- デスク取り付け, 62

と

- ドライブ, 66

に

- ニュージーランド
 - RCM, 55

は

- バックアップバッテリー, 45
 - 設置, 45

ふ

- ブートシーケンス, 85
- プロセッサ, 66

ま

- マザーボード
 - 技術的特徴, 71

り

- リチウムバッテリー, 43

漢字

- 安全に関する情報
 - 運搬時, 22
 - 保管, 22
- 一般的な技術仕様, 64
- 画面上のエラーメッセージ診断エラーメッセージ画面
上のエラーメッセージ, 86
- 韓国認証, 56
- 記憶媒体, 66
- 起動, 85
- 結露, 22
- 構成
 - Ethernet, 37
 - Industrial Ethernet, 37
- 梱包材の内容物, 21
 - 確認, 21
- 指令
 - ESD 指令, 58
- 識別データ, 22
- 取り付け, 29
- 取り付けタイプ, 26

- 修理, 41
- 重量, 64
- 初期コミッショニング, 39, 40
- 製品ラベル, 23
- 静電気
 - 保護対策, 60
- 責任の制限, 42
- 接続
 - ネットワーク, 37
 - 周辺装置, 34
 - 保護導体, 35
- 設置
 - バックアップバッテリー, 45
- 装置の電源をオフ, 40
- 装置の電源をオン, 40
- 電源
 - DC 電源, 70
- 電源電圧, 10, 64
- 認可, (EAC)
- 認証
 - 認証および認可, 53
- 壁取り付け, 29
- 保護クラス, 64
- 保護対策
 - 静電気, 60
- 保護等級, 64
- 保護導体接続, 36
- 保証, 16
- 包装, 21
 - 確認, 21
 - 取り外し, 21
- 放射, 18
 - 高周波放射, 18